

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【249】

2. 日 時：令和4年8月5日 10時00分～12時20分
16時55分～18時40分

3. 場 所：原子力規制庁 9階C会議室（TV会議システムを利用）
9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、
服部(正)主任安全審査官、三浦主任安全審査官、藤川安全審査官※、
谷口技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

石田技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 部長（電源土木） 他6名

電源事業本部 耐震設計土木グループ 担当 他11名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力土建部 設計管理グループ 担当 他1名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	規制庁のハツリです。
0:00:06	ただいまから、島根 2 号機設工認についてヒアリングを開始いたします。
0:00:12	本日の議題は、耐津波設計方針のうち、
0:00:16	津波漂流物関係等となりますがよろしいでしょうか。どうぞ。
0:00:23	中国電力のケンヅメです。はい。磯野議題でよろしく申し上げます。
0:00:29	規制庁の服部です。はい。それではまず説明本日の説明の、
0:00:34	方法について、中国電力から説明をお願いしますどうぞ。
0:00:42	中国電力のケンヅメです。本日の説明についてはヒアリングコメントの回答となりますので、1 問 1 頭形式で行うと考えておりますが、
0:00:52	疲労の説明の流れを考慮しまして、先に漂流物に関する説明以外について説明し、
0:00:58	その後漂流物に関する説明をさせていただきたいと考えますが、よろしいでしょうか。
0:01:04	規制庁のハツリですはい。わかりました。
0:01:07	それではまず資料の確認をお願いしますどうぞ。
0:01:12	中国電力のケンヅメです。それでは資料の確認をいたします。
0:01:16	資料番号N-S2 オカ 072 タイ 03。
0:01:21	こちらをヒロイNo. 1 とします。
0:01:24	続きまして拾う番号N-S2.1004 回 04、こちらを資料ナンバー2 とします。
0:01:33	同じくN-Sにa. 1004 回 04 括弧日こちらを資料No. 3 とします。
0:01:41	N-S2 歩 018-02 回 07、こちらを白ナンバー4 とします。
0:01:48	資料は以上です。おそろいでしょうか。
0:01:52	規制庁の服部ですはい資料の確認ができました資料はそろっていますので、
0:01:57	それでは説明の方を始めてくださいどうぞ。
0:02:02	中国電力のケンヅメです。それでは資料ナンバー1 の 9 ページ、ナンバー63 のコメントを確認願います。
0:02:16	こちらのコメントは、継続コメント。
0:02:19	継続となっているものとなります。
0:02:21	コメント内容としましては、津波監視カメラについて、自主設備が本設備のに対して悪影響を及ぼさないことを説明することでありますが、
0:02:33	こちらのコメントは追加のコメントをいただいておりますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:36	あわせて回答いたします。
0:02:38	同じく資料No. 1 の、
0:02:41	11 ページ、No.89 を確認願います。
0:02:51	コメント内容としまして波及的影響の有無について記載を拡充し、説明すること。
0:02:58	についてですが、
0:03:00	資料ナンバー4 の通して、
0:03:03	328 ページを確認願います。
0:03:16	中ほどの記載で、なお書き以降の記載となります。
0:03:21	中央制御室における監視機能、上位クラスから、
0:03:26	緊急時対策所における監視機能、下位クラスに伝送するラインは、
0:03:31	下位クラスの故障が上位クラスに波及することがない設計としていることから、
0:03:36	中央制御室での監視に影響を負わせない旨を追記しました。
0:03:42	また、監視カメラの概略構成をわかりやすく整理しました。
0:03:48	以上です。
0:03:50	規制庁の服部ですはい。し、コメント番号 63 番についてはこれで確認ができましたので了としたいと思います。
0:03:59	引き続き
0:04:01	漂流物衝突荷重以外のコメント回答について説明を続けてくださいどうぞ。
0:04:09	規制庁藤川ですけど、ちょっとすみませんNo. 89 についても、コメント両者、
0:04:16	了解としたいと思います。上位クラスが下位クラスとかいう文言追加いただいてちょっと資料わかりやすくなったと思いますので、こちらについてはこれで結構です以上です。
0:04:28	承知いたしました。
0:04:29	それでは続きまして、資料ナンバー1 の 10 ページのNo.83 を確認願います。
0:04:44	中国電力演説失礼いたしました。こちらのコメントも継続となっている案件となります。
0:04:50	コメント内容は、高圧炉心スプレイ補機海水ポンプモータの機能装置高さについて、図 3-26 中で適正化することではありますが、
0:05:03	こちらのコメントについても追加のコメントをいただいておりますので、あわせて回答いたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:08	なお、追加コメントは括弧書きコメントですので、回答整理表にはごさいません。
0:05:14	コメント内容としましては、
0:05:16	機能喪失高さをモータ下端高さとしていることについて、
0:05:21	溢水防護の部署から引用することでありませす。
0:05:25	資料ナンバー2 の、
0:05:27	通しで 39 ページを確認願います。
0:05:41	こちらの注記で引用元の制度について図書について追記しております。
0:05:47	読み上げますと、注記としまして、
0:05:50	津波防護対象設備の機能喪失高さは、
0:05:53	6-1-1-9-4。
0:05:56	溢水影響に関する評価に基づき設定するという記載を追記しております。以上となります。
0:06:05	規制庁の服部です。はい。コメント番号 83 番については確認ができましたので了としたいと思います。では次お願いしますどうぞ。
0:06:14	中部電力ケンヅメです承知いたしました。
0:06:17	続きまして資料ナンバー1 の 10 ページの 85 を確認願います。
0:06:28	こちらのコメントも継続コメントです。
0:06:31	コメント内容は、タービン建物へ流入する溢水量の算出過程を明確化することでありませす。
0:06:39	こちらも追加のコメントを 3 件いただいております。
0:06:46	資料 4 の通しで、
0:06:48	346 ページを、及び 347 ページを確認願います。
0:07:03	追加のコメント内容としまして溢水が発生する箇所が、
0:07:08	地点 5 のみであることが分かる記載を追加することでありませすが、
0:07:13	溢水が発生するする箇所が 1.5 のみであることがわかるように、表 5 ポツ 5-2。
0:07:20	意味、その旨を記載しました。
0:07:23	同じく
0:07:24	347 ページにおいて、
0:07:27	記載を適正化しております。
0:07:31	347 ページの下から 2 段目の記載となります。
0:07:40	はい。こちらの元の記載は、タービン建物地点 4 から 7 における最大浸水深が扉の設置位置、開口部下端高さを上回るものは、としておりましたが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:52	タービン建物、1.4 から、
0:07:55	1.7 において溢水が発生するのは、という記載に適正化しております。
0:08:02	2 点目の追加コメントですが、347 ページの図 1 の、
0:08:07	溢水の継続時間の記載。
0:08:09	矢印分について適正化すること。
0:08:12	であります、
0:08:13	図 1 の矢印分の表記について記載を、継続時間がわかりやすく、
0:08:20	定例化しております。
0:08:22	最後の 3 件目のコメントですが、
0:08:25	ユーロ計数の引用元及び図面等を追加することではありますが、
0:08:30	粒度係数の引用元及び同一方法について、
0:08:34	追記するとともに、
0:08:36	348 ページの表 1 に、
0:08:39	ユーロ係数の同一に使用したパラメータを追記しております。
0:08:44	コメントに対する回答は以上となります。
0:08:48	規制庁の服部です。それでは確認する点がある方お願いします。
0:08:56	規制庁のハツリですはい。確認をしました。
0:09:00	すいません 1 点。
0:09:01	引用元って、今言いましたけど湯本。
0:09:06	どこに書いてあるんですか。どうぞ。
0:09:11	中国電力のケンヅメです。説明が即取りました。
0:09:17	指導 4 の 347 ページ。
0:09:21	こちらのウェイの記載で、
0:09:24	水理公式集、公益社団法人土木学会のうち、
0:09:29	長方形堰の越流量の算出方法をしようということで、引用元を記載しております。以上です。規制庁のハツリですはいわかりましたそれでは 85 番については了とします。次お願いしますどうぞ。
0:09:46	中国電力の戸部です。
0:09:48	以上で漂流物に関するコメント以外のコメント回答は終了となりますが、適正化リストにおいて、補足で説明することがありますので、説明させていただきます。
0:09:59	資料ナンバー 1 の 13 ページのナンバー 163 を確認願います。
0:10:12	適正化内容としまして、
0:10:14	設計進捗により、原子炉補機、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:17	原子炉補機警戒会館の敷設計画が変更となったため、関連する図の適正化を行っております。
0:10:25	資料ナンバー2 の通しで 59 ページを確認願います。
0:10:39	こちらの図の原子炉補機海水系配管について、
0:10:43	地震により、2 号機の放水槽の閉塞が生じた場合においても、
0:10:47	原子炉補機海水系の機能が維持できるラインを追設追設するため、追記しております。
0:10:56	これにあわせて関連する図にも同じく適正化しております。
0:11:02	続いて資料ナンバー1 の 13 ページのナンバー168 及び 107、171 を確認願います。
0:11:17	ヨウロウブツの前提において、
0:11:19	案内版を撤去する計画としたため、
0:11:22	考慮する漂流物から除外しております。
0:11:25	資料 4 の通しで 163 ページを確認願います。
0:11:40	あんな場で、案内文については、1 個、一型高及び廃材箱と同様に、撤去する計画であるため、漂流物選定においても除外しておりましたが、
0:11:50	こちらの記載に反映できておりませんでしたので、関連する箇所も含め適正化を行っております。
0:11:58	以上で漂流物に関する説明以外の説明は、終了となります。
0:12:03	規制庁のハツリですはい、それでは適正化について確認する点がある方をお願いします。
0:12:11	では私からちょっと 1.5、資料 2 の 59 ページの 9 ページをお願いします。
0:12:17	すいません少しよくわからなかったんですけども、
0:12:20	追加で配置する。
0:12:24	タービン補機海水系配管というのは、
0:12:26	具体的にどれになるか説明いただけますかどうぞ。
0:12:33	中部電力ケンヅメ数。
0:12:37	59 ページの図の中にあります。
0:12:41	ルールの 32 にあります
0:12:44	原子炉補機解析配管。
0:12:47	落と。
0:12:49	天井部貫通ということで途中から分岐をさせまして天井部を貫通する、この分岐した配管が該当の配管となります。以上です。
0:13:00	規制庁のハツリですはい、わかりました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:04	他になければ、引き続き、
0:13:14	規制庁チギラです今の 59 ページのところの、
0:13:19	今回変更したところっていうのはこの
0:13:22	ダクト。腰部貫通っていうところの、黒い点線で囲ってあってその 2 本配管が出てるんですけど、
0:13:34	これが今までに、の説明とかあった、追加された半配管ということですか。
0:13:43	中国電力へのベースは今ご説明いただいた認識の通りこの 2 本の分岐した配管が、追設となる配管となります。以上です。
0:13:54	はい。1 チギラです。それで、Ⅱ A 棟津波の流入経路とかなるとかっていう、そういう説明とかならないよっていう説明だと思うんですけどその辺って、
0:14:08	どこかでされますか。
0:14:12	はい。中国電力の長田です。こちらの配管は追設部分の出口の方には、津波が到達しないんですけども、もともと、
0:14:23	この図の、
0:14:25	左側ですね放水槽から、もともとあった既設ラインのところからは津波が、配管内を流入してくることになりますので、
0:14:36	これまでの説明と同様に、原子炉補機海水系配管の排出、
0:14:43	排水が配管ということで、言葉の中に含めて、一応説明というか文章の方はそこに含めておりますので、へ今回変更したのは、
0:14:55	図の図のみの変更となります。以上です。
0:15:02	規制庁チギラです。この図面だけ変えて今まで説明の文章っていうのは特に、今までの記載の中で読めるよっていう、
0:15:14	ことでいいんですかね。それで今、その読める予定該当の箇所って、
0:15:19	どこ、どこかに書いてあるか、それちょっと教えてもらっていいですか。
0:15:28	中国での県別少々お待ちください。
0:16:16	中国電力の永田です。ちょっと該当箇所をす。今確認しておりますので、すいませんちょっと時間の関係で、
0:16:28	ちょっと次のコメント等に行かさしていただいてちょっと後程、該当箇所をご回答させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。はい。わかりましたそのときにまた
0:16:40	このヒアリングの中でどこかで説明いただければと思いますけど、あとその、
0:16:46	断面というか上げ腰というか上に上がって、他の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:53	飲食駄目ですね、のフローから出ていくようなそんなイメージもわかれば、そこもあわせて紹介いただければというふうに思いますので、よろしくをお願いします。
0:17:03	以上です。はい。中国電力の長田です。ちょっと該当箇所と、探してまた後程ご説明させていただきます以上です。
0:17:13	規制庁のハットリですはい。わかりました以前なんかこう上げ越野断面図があったような気もしますししますので、それを見せていただければわかりやすいと思いますのでお願いします。では、
0:17:23	漂流物関係について、コメント回答の方を始めてくださいどうぞ。
0:17:32	はい。中国電力の伊佐です。それでは法律関係のコメント回答の方させていただきますと思います。
0:17:39	コメント回答につきましては
0:17:42	紙資料の説明の準備をご説明させていただきたいと思っておりますちょっと
0:17:48	番号の数、コメント番号が前後いたしますが、申し訳ありません、ご了承ください。
0:17:54	そして今回いただいたコメントのうち、文献を踏まえて、改めてですね、物性値の方を少し、
0:18:01	エミ直して参りました。ですので
0:18:05	ちょっとその解析条件に至るまでのところをひとつコメント回答させていただきまして、その物性値見直した後の結果、またその踏まえた荷重の整理というところを、
0:18:15	一連ご説明させていただきましてそのあと、またその会場に関するところのコメント回答という流れで説明させていただきたいと思います。
0:18:26	それでは一番の資料で 10 ページ、お願いいたします。
0:18:33	10 ページの 81 番になります。
0:18:38	こちら
0:18:39	漂流物の選定に当たりまして指標流通衝突荷重及びその評価手法の観点を踏まえ説明することというコメントをいただきました。
0:18:48	A4 判の資料の通し番号で 112 ページお願いいたします。
0:18:59	はい。112 ページになります。
0:19:02	こちらaポツ日本海島縁部に組成地震の予算に伴う漂流物というところでも、
0:19:09	各漂流物、重要であったり材質であったりそういったところを確認して
0:19:14	また書記配置等踏まえまして

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:17	適切に衝突荷重を基本サービス等を踏まえて算定した上で処理物を選定する旨を記載しております。
0:19:25	こちらbポツの海域活断層についても同様の記載となっております。
0:19:30	そして
0:19:31	207 ページお願いいたします。
0:19:41	はい。207 ページになります。
0:19:45	こちらまた後程少し
0:19:48	こちらに関するコメント、別いただいておりますので詳細についてはこちらでご回答させていただきますが、添付資料 2、こちらで漂流物の選定というところがございましてこちらで先ほどの選定に至るところまでの経緯というところを詳細に記載をしております。
0:20:04	まず、81 番回答以上となります。
0:20:08	規制庁のハツリですそれでは 81 番について確認する点があればお願いします。
0:20:19	お医者さんどうだし、
0:20:23	いう時ですけどもここに関しては回答としては了といたします。
0:20:31	規制庁のハツリですでは次お願いしますどうぞ。はい、ありがとうございます。続きましてまた一番の資料に戻ります。
0:20:39	11 ページお願いいたします。
0:20:45	11 ページの上から 2 行目、90 番になります。
0:20:49	こちら、ひょう投票率の選定に関しまして大きく四つのコメントをいただいております。
0:20:56	まず(1)、添付書類で説明してる表裏の選定につきまして、結果だけでなく、家庭もく、本文の中に記載をすることというコメントいただきました。
0:21:07	4 番の資料で言いますと先ほど見ていただいた 112 ページ。
0:21:11	に記載をしているというところ、また、添付資料 2 でいきますと、212 ページお願いいたします。4 番の資料の 212 ページ。
0:21:22	こちらから漂流物の選定に至るまでの過程というところを詳細に記載をしております、210213、214 です。14 ページ 214 ページにそのまとめ。
0:21:35	結果というところを記載をしております。
0:21:38	そしてコメントのうち(2)表用の算定式の記載内容を修正することというところで、213 ページお願いいたします。
0:21:48	と今回の資料でちょっと表 5 という記載になっておりますが、こちらについて、前回、船舶についてすべて、直近会議、前年回帰に限らず、
0:21:58	道路教授北条というところで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:00	荷重のほうを見ておりました。今回はその場所をきちんと踏まえまして、
0:22:07	FEMA式を適用する箇所については、それを使って排除出しております。
0:22:13	そしてコメントの(3)。
0:22:16	キョウノ算定式を算出した衝突荷重を設置する、初期位置を踏まえて進め用いることというところで、こちらのところ、ちゃんと整理、
0:22:26	その配置を考えてるところ、またその記載というの 212 ページ。
0:22:32	初期配置を考えて設定しているというところを記載しております。
0:22:37	そして(4)、基本算定式は表裏の先生用いているということを明確にすることということで、
0:22:44	214 ページになります。
0:22:48	こちら
0:22:51	資料に記載をしております。ただ、最後にこのまとめのところですね、こちらについて、細胞施設に考慮する、下から 5 行目にあります以上よりというところですが、
0:23:01	津波防護施設に考慮する標準の選定にあたってこういった荷重算定式を用いる、そういった記載をしております。
0:23:08	こちら 90 番の回答は以上となります。
0:23:12	規制庁の服部です。では、90 番について確認する点があればお願いします。
0:23:17	よろしいでしょうか。
0:23:20	はい。
0:23:20	では掲示板については確認ができましたので了といたしたいと思えます。では次お願いします。どうぞ。
0:23:26	はい、ありがとうございます。
0:23:28	続きまして、一番の資料になります。同じく 11 ページで
0:23:34	95 番。
0:23:35	お願いいたします。
0:23:37	中ほどになります。95 番につきまして設置許可でご説明しておりました
0:23:43	漂流物の検討フロー、こちらについて、
0:23:46	説明することというコメントをいただいております。
0:23:50	4 番の資料でいきますと、122 ページお願いいたします。
0:24:02	122 ページになります。
0:24:05	今回この 122 ページにフローを追記しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:09	設置許可と少し若干フローの形は変わっているんですけども、内容としては
0:24:14	変わっておらず、少し詳細に記載をして参りました。
0:24:19	まず漂流物の選定というところで、19t船舶を選ぶというところ、そして初期配置を踏まえて、
0:24:26	直近海域に前面海域でこう分かれるところですよ。前面海域の方につきましては、既往の
0:24:35	意識等の適用性を確認した上で道路強取褒賞を使うというところ。
0:24:39	そしてYesの方が左流れる直近海域の方であれば、
0:24:45	生協からの適用性を確認するという記載でしたけどもう少し詳しく、ちょうど付けたい二つしか差があるか、またそのモデル等、きちんと作成できるか、妥当性があるかというところを確認した上で、
0:24:56	衝突解析にいた、至るというところを記載しております。
0:24:59	また、
0:25:02	今回ナカガワ 2号機さんの方で先週報告の衝突についてはFEMA式の時、
0:25:09	を使われてるというところもございましたのでそこも確認するというふうなことで今回、こういったフローで
0:25:17	共立の衝突荷重の算定フローというふうにご覧いただきまして。
0:25:22	こちら回答以上となります。
0:25:26	規制庁のハツリですそれでは確認する点がある方お願いします。
0:25:34	はい。規制庁チギラです。
0:25:36	何点かちょっと確認させていただきたいんですけど、
0:25:40	まず許可時に示していた津波防護施設の津波、
0:25:46	人の検討フローっていう、
0:25:48	フローなんですけど、
0:25:50	これっていうのはまだ全面的に取り消したっていうか見直したとかっていうわけではなくて、それ自体は生きているんですけど、
0:26:00	衝突荷重の算出に係る部分を充実して再整理をしたっていうのが今回のこのフローという理解でよろしいでしょうか。
0:26:10	はい。中国電力の磯です。はい。今知久様がおっしゃった通り、その認識で結構です。
0:26:16	はい、わかりました。結果時に示したフローはもうちょっと全体。
0:26:22	増というかがあって、
0:26:24	あとレバーどこか、資料の中で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:29	下シミズ分を示すところがあるのかどうか、ちょっとそこについてはちょっと検討いただければなど。
0:26:37	いうふうに思いますがいかがでしょうか。
0:26:40	はい。中国電力の伊佐です。はい。許可時でお示したフローにつきましては荷重を使いましてそのあと
0:26:48	財務施設の評価のところまで記載をしていたところとなっております。ちょっと今回その荷重の選定というところにちょっと特化したフローとなっておりますのでその全体のところまた、
0:26:59	場所を少し考えて、記載させていただきたいと思います。
0:27:03	はい、わかりましたじゃ検討の方お願いします。
0:27:06	続いてここ、今回示していただいた漂流物によるショートとかでの算定方法の選定フローについてですっていうと、このフローについては、基本的には先行実績がないというか
0:27:20	今回新たに中国電力の方で考えられたフローという理解でよろしいでしょうか。
0:27:27	はい。中国電力の伊佐です。はい。
0:27:31	おっしゃる通りだと思っております。今回衝突解析等を使っていくというところで
0:27:37	大中さんは参考でといいますか、やられてたかと思いますが、そこは我々独自のこのフローとなっていると思っております。
0:27:48	規制庁吉良です。わかりました。1点だけちょっと質問なんですけど、このフローの
0:27:55	左側の直近海域のところ、一つ目のダイヤなんですけど、この衝突形態に不確かさがあるかっていう判断。
0:28:04	なんですけど、これって、具体的にどういうことを意図してるのかっていうのがですねちょっとよくわからなかったんですけどそこについてちょっと説明していただいてもよろしいでしょうか。
0:28:16	はい。木調布エンドウの伊佐です。はい。今回対象となっているのは19トンの船舶というところでございます。19t船舶については
0:28:26	どういった辺り方を指定するかということが一つあると思っております、
0:28:31	その不確かさというところを検討できるかどうかというところで
0:28:37	の市況、そういう算定方法になるかというところ分かれるかと思っております。衝突解析につきましてはそういったいろんな当たり方を検討できるというところ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:46	あって下の方にSに流れていくというところ、そして
0:28:50	FEMAについては、船首方向の0件。
0:28:54	会場が出せるというところをちょっと、
0:28:56	ではありませんが、そこも確認していくというふうになっております。以上です。規制庁の江崎です。多分今の言葉を表現すると、ある課ではないんだよね。あるかっていうと、例えば、
0:29:07	タンクとかああいったものは、比較的円筒形だからあまりどこぶつかっても、かかわらないとか、
0:29:13	ああいう話ありますよね。そういう話をしてるわけじゃなくて、
0:29:17	いわゆる
0:29:21	既存式、
0:29:22	の中で、
0:29:23	ショウサツ形態を、
0:29:27	不確かさを、
0:29:28	考慮可能か。
0:29:31	ということでね、考慮するかしないか。
0:29:34	考慮できるかできないか、多分そこで分けてるんでしょ、今の説明は。だから言葉がちょっと。
0:29:39	選ばないともう少し適正化する必要があるかという話だけなんだけど。
0:29:47	はい。中国電力ですはい。おっしゃる通りかと思いました。それでちょっとこちら不確かさがあるかというところにつきまして少し表現をもう少し見直して、
0:29:58	記載したいと思います。
0:30:01	はい。中国電力ヨシツグでございます。
0:30:04	今の話で、
0:30:06	算定式、基本算定式の中にそういった、
0:30:09	物を取り込んで評価できるかというところがこのダイヤのところだと思いますので、そういった表現に少し見直しをさせていただきたいと思います。以上です。
0:30:19	はい、規制庁チギラず、ちょっと見直していただいて明確になるようにしていただければというふうに思いますので、よろしく願います。私から以上です。
0:30:30	規制庁のハツリです。私からももう1点ちょっと確認をさせてください。
0:30:36	このフロー、選定フローというのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:40	FRP船舶に限定したフローということで理解をすればよろしいんでしょうかどうぞ。
0:30:50	はい、中国電力麻生です。はい。おっしゃる通りです。こちらフローの最初のところですね、選定というところで 19t船舶というところに、
0:30:59	からスタートしておりますのでそういったご理解、
0:31:02	なります。
0:31:03	以上です。
0:31:05	規制庁の服部です。ということは、例えば抗生船舶だったり、車両だったりする。
0:31:11	が漂流物なったときは、このフローは使えないということで理解すればよろしいんでしょうかどうぞ。
0:31:19	はい。中国電力のヨシツグでございます。その時には、このフローで使えるかどうかをもう一度確認をさせていただいて、基本的な流れは一緒だと思っておるんですけどもそこはもう一度確認をさせていただきたいと思っております。以上です。
0:31:33	規制庁のハツリですはいわかりましたFRP船舶に限定した、いわゆる適用す。今のところでは、適用範囲を絞った形。
0:31:45	でのフォローだということで理解をしました。少し気になったのは、このフローの行き先の荷重の選定のところで、
0:31:55	フィー式が参考になっているので、
0:31:58	ここに行き着いてしまうとう藤間式が参考となっているから、何かFEMA式を使うのか使わないのかわかんなくなっていて、例えばFRP船舶以外のものも適用可能だとすると、
0:32:11	なんかそこら辺でFIにこのフローだと、必ず衝突荷重に行くようなフローにも見えるので、どこまでの適用範囲で使ってるのかなということで事実確認をさせていただいたという次第ですが、
0:32:23	よくわかりました。
0:32:26	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:32:28	車の場合は、実験をやられて軸剛性までにきちんと求められているというところがあります。その時には
0:32:37	衛藤。
0:32:38	そういったところで、
0:32:41	ビーマ式というのが交じっ線があると。ただ船の場合はあくまでもまだその軸剛性のところまで求められたものでもないということもございまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:52	そういったところで最後のところの参考というところは、あくまでも今回の船の場合を、今書いております。先ほど申しました通り、構成の船の場合ですとか、
0:33:03	車の場合というときにはまた改めてここを見直すことになるんだと考えております。以上です。
0:33:10	規制庁のハットリですはい。事実としてはわかりました。
0:33:15	私からは以上ですが他にあればお願いしますどうぞ。
0:33:20	よろしいでしょうか。はい。では次お願いしますどうぞ。
0:33:27	はい。中部エミコンサルです。それはまた一番の資料となります。同じく11ページ。
0:33:34	94番お願いいたします。
0:33:38	はい。こちら3、船舶の3次元FEMモデル、こちら作成にあたって設定してるその寸法を根拠としている登録長さ、そういったところの定義を、
0:33:47	ご説明することということになりまして
0:33:53	129ページ、4番の129ページをお願いいたします。
0:34:05	はい。129ページの表のところにございましてここで登録長さ登録は登録深さということに米印をつけております。
0:34:15	その下の注記というところで登録長さの頭の定義、それが
0:34:21	今回船舶法施行規則といったものに基づいたものとなっているということをご記載しております。
0:34:26	そして次のページ130ページをお願いいたします。
0:34:32	こちらの、130ページの図でその具体的な定義だということの、
0:34:38	場所ということをご
0:34:40	明記いたしました。
0:34:42	回答以上となります。
0:34:47	規制庁の服部です。はい、では確認する点のある方お願いします。よろしいでしょうか。
0:34:53	はい、では、90、
0:34:55	4番については了といたします。では次お願いします。どうぞ。はい、ありがとうございます。はい。続きまして同じ一番の資料に戻ります。同じく11ページの、
0:35:06	99番、下から2行目お願いいたします。
0:35:11	99番につきまして
0:35:14	船舶のモデル作成にあたって、ましてその船体質量におけるブリッジ等の考慮方法等について、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:21	明確に記載することという、跨ぎ層序につきましても、図等で具体的に説明することというコメントをいただきました。
0:35:30	こちらにつきまして
0:35:32	まず 129 ページ、4 番の 129 ページをお願いいたします。
0:35:40	こちらで上の文章の中ほどから成りますなおということです。なお看板状のブリッジ及び、
0:35:48	期間分とはモデル化しないが先週浅部以外の
0:35:53	船舶の水を増大させることで
0:35:56	考慮するということを記載しております。また、134 ページお願いいたします。
0:36:08	134 ページの中ほどの図になりますが、こちらで具体的に、
0:36:13	そす、設置配当を踏まえまして、増大する範囲と増大する範囲等の明記しております。
0:36:21	回答以上となります。
0:36:24	規制庁の服部です。
0:36:26	それでは確認する点がある方お願いします。
0:36:41	規制庁のタニグチです。
0:36:43	基本的にわかりました。134 ページのところに書いてあるように、船首船尾以外の尖閣のところを、密度を増大するというのが答えてことですね。
0:36:53	わかりました。ただ、ちょっとだけここでお聞きしたいことがあるんですけど、
0:37:00	これは
0:37:03	3次元フレームでソート通解析をする際に、選手でぶつかる場合、それから船尾で使う場合、
0:37:13	真横にぶつかる場合、いろんなケースやられてると思うんですけど、
0:37:18	各ケースにおいてもすべて同じように考えたということになるんでしょうか。
0:37:26	はい。中国電力の佐々です。はい。
0:37:29	後程ご説明させていただきます共同解説につきましてどの形態につきましても、同じモデルを使っておりますんで同じこういった、
0:37:39	134 ページにお示してるような考え方になっておりますはい、わかりました。
0:37:44	ここの 134 ページのところに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:48	船首からの衝突においてはここでこういうことで考えましたということが、 下、
0:37:55	下から 123457 ページ、7 行目ぐらいのところに書いてあるんですけど も、
0:38:01	真横にぶつかる場合においても、これと同じ。
0:38:06	考え方として考えていいんですね。
0:38:10	先週の場合はこうでしたこういう見通しでか、こういうふうに考えましたっ て記載されてるんですけど、真横の場合も同じように、
0:38:22	緩和と同じロジックで考えられるっていうことになるんでしょうか。
0:38:27	はい。中国電力の磯田ですはい。こちら、千趣会の調達についてという 記載になっておまして、まずその編集部から破壊していくというところ が記載しております。
0:38:40	今回真横につきまは同じモデルを使っていると。
0:38:43	いうところで、
0:38:44	基本はこちら、
0:38:48	迷子がぶつかるので、増大する部分も含めて同時に当たっていくと、い うような所と付けてなるかと思っております。
0:38:57	はい。ちょっと横の場合が選手でぶつかった場合と、
0:39:03	今この考え方、特に 3 次元のモデルD、船首船尾以外の選択を、の 対象とする、して、ここだけ差分をふやした。
0:39:16	という水をふやしたって書いてある部分について、影響が横にぶつかつ た場合でも、これで評価するのが一番妥当なんだっていうことの説明 を、
0:39:29	何、何らかの形でこの部分に、
0:39:34	記載できないかなと思ったんですけどいかがでしょうか。
0:39:41	はい。中国電力伊佐です。今おっしゃられたことはこの 130 ページの選 手の衝突においてはというところの記載、これを真横からについても、き ちんと
0:39:52	同じように影響ないということを書く。
0:39:54	はい。
0:39:55	記載した方が良いというご趣旨だと理解いたしましたので、ちょっとそう いった文章で、
0:40:01	少し考えて、ご説明させていただきたいと思います。はい。よろしくお願 いします。
0:40:07	以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:12	規制庁のハツリです他あればお願いします。
0:40:15	よろしいでしょうか。
0:40:28	規制庁のタダウチサノ。
0:40:30	今の話なんですけど、船首船尾以外のところはFFRD水の増大範囲ということで付加させてるってということになるんですけども先ほどちょっと話題になった。
0:40:42	横方向からのね、ショートIIに関しては船首船尾の衝突については先生整備のね例えば衝突の利子質量欠損分というのが多分、
0:40:52	あってそれはリアルに大体、載せてないからいいよねって話なんですけども、横方向の衝突についてこれー、いわゆる全体の、要は重量がその散逸して検証するような話ってというのは、
0:41:07	結構な影響度があるんですかないんですかそこら辺を教えてください。
0:41:17	はい。中国電力の伊佐です。
0:41:24	はい。申し訳ありません 156 ページお願いいたします。4 番の資料 156 ページです。
0:41:31	こちらですねコメントの一つにもなっております今回、出漁
0:41:38	んす。今回FRPの要素はひずみはカジタ時点で消えるという設定をしているところで、その必要低下が、衝突荷重に影響はないかというところ。
0:41:52	コメントいただいております。今回、ちょっと横の方でご説明させていただきますと、こちら箇条書きのところ、三つ目、上から三つ目をお願いいたします。
0:42:03	今回最大衝突荷重が出ている時刻、0.03 秒というのが真横でございますが、その時刻でその残存するっていうのは、99.9%、もうほとんど消えていないという状況になっております。
0:42:14	ですので今、芦田タダウチさんがご懸念されたような、
0:42:19	影響というのはないというふうに判断、軽微と判断しております。
0:42:24	で、ちょっと他に、他の形態につきましても同様にですね、
0:42:28	99. 何%とか、ちょっと斜め衝突する時は
0:42:34	少し所、最大荷重が出るのは後ろの方にあるということですがそれでも96.2%かそんな、
0:42:41	オーダーとなっております
0:42:43	営業は軽微というふうに考えております。以上です。
0:42:47	はい、規制庁タダウチばかりの 99.9%で 0.1%程度っていう話では、大体理解できました。はい。以上です。
0:43:11	規制庁の服部です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:13	他あればお願いします。
0:43:16	よろしいですか。
0:43:18	ではただいまのコメントについては追加の
0:43:23	記載、記載になるのかそれとも説明になるのか、含めて少しありましたので、適正に対応をお願いします。
0:43:30	では次お願いしますどうぞ。
0:43:38	はい。中国電力の伊佐です。すいません。続きまして一番の資料、同じく11ページ、93番、お願いいたします。
0:43:50	93番になりますが、こちら3人船舶のモデルの解析条件設定において、
0:43:57	採用してるその文献値の適用性というのを説明することということをコメントいただきました。
0:44:03	まず、
0:44:05	まとめからになります。4番資料で46。
0:44:09	536ページをお願いいたします。
0:44:20	はい。こちらで等、その文献をもとに適用性を踏まえて改めて設定を行ったところを記載しております。
0:44:27	結論から申し上げますと、この曲げ強度というところ、前回200MPaという値を使っておりましたが、その他の文献とちょっと確認いたしまして、
0:44:37	我々としてちょっと267。
0:44:39	考えることが安全側というふうに判断いたしまして少し、こちら変えております。
0:44:45	具体的な
0:44:47	考え方というところを添付資料3というところで通し番号229ページお願いいたします。
0:45:04	はい。229ページのdポツ、材料特性というところから、今回文献の適用性というところを確認して参りました。
0:45:13	こちらでその次の230ページ以降を見ていただきますと、
0:45:19	今回衝突解析で用いるFRPの物性値。
0:45:22	それぞれにつきまして異論、
0:45:25	様々な文献等を確認して、衝突荷重が最も大きくなると考えられる文献、最大値である値と、であったりそういったものを適用して、
0:45:35	となっておりますとか、考えております。
0:45:38	231ページはポアソン比、232ページは曲げ強度、こちらは先ほどのちょっとほとんど200と考えておりましたが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:46	中ほどにちょっと260という記載もございますので、こちらを採用したというところになっております。
0:45:54	そして233ページの単位体積重量、
0:45:57	234ページからはひずみと、
0:46:00	の確認となっております。
0:46:03	こちらいろんな文献がございましていろいろ確認して参りました。
0:46:08	そして、
0:46:13	ほとんどない、ちょっとこれを行って、
0:46:20	ごめんなさい申し訳ありません、234ページの上の方につきましてはFRPの破壊ひずみというところは、
0:46:29	0.5%2%だったり、
0:46:31	1.2か3%と、そういった記載がございます。そして下の方の記載となりますが、こちらでは
0:46:38	複数の材料を包絡するような実験をされて試験をされておりました、それを、
0:46:44	元にひずみを設定されているところがございます。
0:46:47	それでちょっと今回235ページお願いいたします。
0:46:54	こちら下の文献先ほどの下の文献が少し、
0:46:58	加田伊井といいますか、本来のFRPのせい物性値ではないというふうに考えまして、
0:47:06	を考えております。
0:47:09	はい。
0:47:11	以上よりというところになります、
0:47:15	規制庁の羽鳥です。すいません途中で止めてすみません。
0:47:21	マスクングのところでもし言いにくいところがあるところがあればその旨言っていただいて、録音を止めたいと思いますので、よろしく願いします。以上です。
0:47:33	すいません、申しわけもうちょっと録音の方を少し止めていただいてよろしいでしょうか。
0:47:38	規制庁のハツリですはい。それではただいまから、一旦、マスクングの箇所の説明については録音を停止したいと思います。
0:47:50	規制庁の服部です。マスクングのところの説明は終わったので録音を再開いたします。
0:47:55	93番について、他に確認する点ある方お願いします。
0:48:01	よろしいでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:02	では次のコメント回答をお願いしますどうぞ。
0:48:07	はい。中国電力の伊佐です。続きまして一番の資料で 11 ページ、92 番、お願いいたします。
0:48:17	から、島根 2 号機とセンコー、
0:48:21	実績でございます女川 2 号機さん、こちらとの
0:48:25	やられたことが比較を、
0:48:27	するということでA4 判資料 290 ページをお願いいたします。
0:48:39	一番の資料で、92 番にあります 11 ページ、上から、
0:48:46	4 行目ぐらいです。
0:48:51	はい。
0:48:52	はい。江藤。今回、490 ページになりますが、添付資料 7 ということで、
0:48:59	先行実績との比較ということをして参りました。基本、対象としましては、女川 2 号機となっております、
0:49:07	今日は
0:49:09	ほぼ同じことをやっているというふう認識しております。少し違うところをご説明させていただきますと、
0:49:17	290
0:49:21	2 ページ。
0:49:22	になりますが、このモデルを作成にあたっては、島根の方は、今回対象と漂流物、こちらの方、
0:49:29	各調査し、いたしまして精緻なモデルを作っていると。
0:49:33	というようなところがございます。
0:49:35	また、
0:49:39	298 ページお願いいたします。
0:49:46	物性値につきましては先ほどご説明させてもらった通りですね、文献等を踏まえて、
0:49:54	必要に応じて、我々として妥当とまるもの。
0:49:57	設定しております。その中でまた破壊ひずみというところも、
0:50:00	先ほどご説明させてもらった通りですが、
0:50:04	設定してるというところがございます。はい。それ以外のところは大体概ね、
0:50:10	井関土佐、そう。
0:50:12	そうでないというふうに考えております。はい。こちら、コメント回答以上となります。
0:50:18	規制庁の服部です。では確認する点ある方お願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:26	規制庁の江崎です。基本的には量です。比較してってことで明確になっていたの、
0:50:33	でき、ちょっと午後の話になるんだけど、会合では、女川との、
0:50:39	差分でその差分はなぜゆえに、
0:50:42	妥当なのかっていう説明の仕方が入っていったほうがわかりやすいかなってというのは、
0:50:47	これ、2番手ってことで、一番竹尾翁長ってある意味、SIなつてのはあの時は実験がなかったんで、
0:50:57	それほどし、信頼性があつたわけではないんだけど、
0:51:00	そういったところから考えて常盤課長、
0:51:05	志津ミイ。
0:51:07	弾性範囲までしかやってないんで、みんな要素がなくなっていったってどんどん荷重が減っていったっていう。
0:51:12	ちょっと非現実的な状態もちょっとあつたわけですよ。そういったことも今回解消したりいろいろしているの、そういったものが、
0:51:21	例えばこの298ページ、全部比較する必要はないと思うんだけど、大きなところは、説明をした方が、
0:51:30	わかりやすいし、技術的な今回、
0:51:34	論点というよりは、向上させたものっていうのが、今後プラス、プラスとして記載が出てきてるような気、
0:51:43	気がするの、そういったものはちゃんとPRLした方がいいんじゃないかと思います。
0:51:47	以上です。
0:51:49	はい。中国電力ヨシツグでございます。おっしゃられる通りで、
0:51:54	我々としてセンコーとの違いというところも説明すべきところだと思いますので、我々が考えた妥当性も含めてちょっとご説明の方の資料を追加させていただきたいと思います。以上です。
0:52:06	規制庁の服部です。他あればお願いします。
0:52:09	よろしいでしょうか。では次お願いしますどうぞ。
0:52:15	はい。中国電力の伊佐です。江藤。残りのコメントにつきましては
0:52:20	この衝突荷重に関係するようなコメントをいただいております。先ほどご説明させていただきました少し物性値を変えたというところで解析の結果も変わりました。ちょっとそちらの方をまず事例を少し簡単にご説明させていただきましてそこからコメント回答の方させていただきたいと。
0:52:36	思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:37	4 番の資料、143 ページをお願いいたします。
0:52:51	こちらから衝突解析の結果となっております。
0:52:58	はい。次のページめくっていただきますと 144 ページになりますが、先週衝突
0:53:04	の結果となっております。
0:53:10	辺衝突につきましては S145 ページをまたいただいて見ていただきますと、
0:53:16	と。
0:53:17	こういった一つぐらいで、共同としては前回お示したところから大きく変わったようなものではございません。
0:53:24	146 ページ見ていただきますとこちらがトータルの衝突解除となっております。前回も少し増えるような傾向となっております。
0:53:35	船首船尾真横につきましては基本
0:53:39	同じような、前回と共同となっておりますがちょっと説明は割愛させていただきますまして、前回少し結果が載せていなかった斜めからの衝突というところ。
0:53:48	佐瀬。ご説明させていただきます。168 ページをお願いいたします。
0:53:58	168 ページ、こちらで斜め衝突の話をさせていただき、
0:54:03	いただきまして 169 ページ。
0:54:06	えさ衝突状況図となっております。
0:54:10	今回斜め 45° からぶつかるというところで、まず船首からぶつかってそのあと、
0:54:15	その選手の所支店みたいな格好で、回転をしまして、一番下の図のように、船尾側でもう一度ぶつかるという 2 回衝突するような傾向がえられております。
0:54:27	ここで荷重といたしましては、次の 170 ページ見ていただきますと、やはり
0:54:33	2 回ショートするというところで荷重が、その分エネルギーを分散するということで、
0:54:40	すいません、先週だったりそういったところの荷重よりは小さくなっているというところが、
0:54:45	わかります。
0:54:46	斜め船尾につきましても同じような共同していますのでちょっと割愛させていただきますまして、190 ページお願いいたします。
0:55:05	はい、190 ページにあります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:07	こちらまとめとなります。
0:55:10	表の方にですね
0:55:13	真ん中のところに衝突荷重の集計トータルの衝突荷重というところが記載しておりますとこちらで言いますと、横の衝突、
0:55:21	7000、400 キロ 2 度ぐらいが出ているというところとなっております。
0:55:26	そして 1 メートル当たりの衝突荷重というところで行きますと、選手の加重 1107 という荷重が大きくなっているというのを確認いたしました。
0:55:36	また、
0:55:39	先ほど幾つかショート状況の方見ていただきましたが、機関部エンジンにつきましては、どのケースについても、ショウガン、
0:55:47	当たらないというところを確認しております。
0:55:50	はい。
0:55:51	で、191 ページに、江藤幅野ちよつとご説明させていただきましたのは、衝突速度 10 メーターパーセクのものでございまして、
0:56:00	江藤海域活断層の方の速度 6 メーター/secの結果を、
0:56:06	ちよつと随時というふうにか記載をしておりますが、そこ、前回のヒアリングの中で、調達課長の採用 1 というところはですね、
0:56:15	評価が厳しくなる時に、津波高さにかかわらず、検討すべきというふうに理解をいたしましたので、それとなった場合このShort側道 10 メーター/secに基本、
0:56:27	会場としては包絡されるというふうを考えております。
0:56:31	ちよつと今回辻というふうに記載をさせていただきましたが、今後、この 6 メーターである 10 メーター/secという荷重を、設計を、
0:56:40	設計に使っていきたいというふうを考えておりますのでちよつとこちら、今後削除していきたいと思っております。
0:56:47	はい。197 ページ、お願いします。
0:56:55	こちら、197 ページですが、衝突解析出てきた荷重のすす考察といひますか整理というものをしてみました。
0:57:04	図でお示しておりますがこちらが、
0:57:07	核衝突形態の
0:57:10	最大幅ごとの衝突荷重というふうになっております。
0:57:17	先週伊達専務だったりそういったものにつきましては基本耐幅に相当する、
0:57:23	五部キーのところ採用してるというところ、また、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:27	真横、緑色の線になりますが、こちらにつきましてはその船の長さ方向でミイ相当するところで採用しているというところを確認できます。
0:57:36	そして
0:57:38	深く日ごとに作用する衝突荷重、一番大きなものとしましては、
0:57:43	6号激幅6メートルまでにつきましては、水色の線衝突、
0:57:48	それ以降の7メートルにつきましては、真横衝突というふうなことがわかりました。
0:57:54	今回指標卒による施設評価というところにつきまして、
0:58:00	まずこのトータル解除というところで、施設の延長解除の作業幅に応じて
0:58:05	本定義といたしましては施設安全に作用する衝突荷重、こういった名前
0:58:11	で設定いたしまして施設全体の評価というものを実施していきたいと思っております。
0:58:16	そして次のページお願いいたします198ページ。
0:58:21	先ほどご説明した施設全体に作用する衝突荷重こちらは
0:58:27	実際に解析で評価するときは、
0:58:31	平均所得回答分布として表現する。
0:58:35	ことを考えております。
0:58:36	そうなった場合等、
0:58:39	図でお示しします通り、リ災
0:58:42	青線のような点破線のような荷重をかけるんですけども、
0:58:47	やはり実際の荷重としてはそれを上回るような局所的な荷重が出ているというところが確認できました。
0:58:53	こちらにつきましては、もきちんと確認をしてそういう局所的な損傷がないようにというふうな観点から、これにつきまして局所的な衝突荷重という観点で、
0:59:04	施設評価を実施していきたいと思っております。
0:59:10	で、200ページお願いいたします。
0:59:19	はい。
0:59:20	こちらから設計書ずつ会場設定するということでまずその設定方針の方を、
0:59:27	記載しております。
0:59:29	まず、今回ミシマで
0:59:31	対象となるものが、表裏物を考慮する設備は、施設は、防波壁、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:37	となります。
0:59:39	飛ぼうはとびあ防波壁通路防波扉につきましては前回の、
0:59:45	ヒアリングの中でも、表衝突を防止するような対策を設けるというところで、
0:59:51	衝突荷重本扉本体にはかからないというふうに、
0:59:55	今は考えております。
0:59:57	そして
1:00:00	漂流衝突荷重を用いた施設評価をつきまして先ほど申し上げた2種類の荷重、
1:00:04	で設定するというところ。
1:00:07	そしてその設定する荷重の値といたしましては、
1:00:13	その初期配置を踏まえまして前年会計道路教習褒賞直近海域では、衝突解析というもので算定したいと考えております。
1:00:23	衝突解析の参加調査にあたっては、後程ご説明いたしますが期間分の衝突影響というものを考慮したり、また、女川さんで実績がありまして、なりました、船首方向の荷重というところがFEMA、こちらも確認をした上で、
1:00:37	所達会場の方、設計用荷重を決めていきたいと思っております。
1:00:42	こちら、
1:00:43	の流れを下の図でフローとしてお示しをしております。
1:00:48	201 ページをお願いいたします。
1:00:54	施設全体にそれをする衝突が10といたしまして
1:00:59	先ほど、
1:01:00	お示した。
1:01:01	荷重、それを先週と横浜一番大きくなるというところで、こういった
1:01:08	最幅ごとに設置作用する荷重というところ、作りました。
1:01:12	そして先ほど頭分布で設定するというところを踏まえまして等分過剰値というところで、上の荷重を割る最大幅したものを、下のグラフでお示しをしております。
1:01:25	202 ページをお願いいたします。
1:01:32	こちら道路挙手保証に関する記載となっております、
1:01:36	初期配置が前年書いてある5領収保証で荷重を算定するというところでございます。
1:01:42	そしてこの通りキョウノ荷重といいますのは、船舶の総重量、これをもとに計算されますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:50	これ。
1:01:51	部局から算定される荷重というのは、施設全体、船舶全体の衝突荷重、
1:01:57	というふうを考えまして、施設全体に作用する衝突荷重に該当すると。
1:02:03	考えました。
1:02:06	値としては 5592 トン。
1:02:09	そして、同様にFEMA
1:02:12	の方も下の方に参考ということで書いております。
1:02:15	先週方向に限ってではあります、こちら軸剛性を出すことで、詳細が出せるというところではあります。
1:02:23	ございます。FEMAにつきまして同じように船舶の総重量を基に算定するというところで、船舶全体に関わる、
1:02:30	衝突に係る施設全体に作用する衝突荷重、こちらに該当するというふうを考えております。
1:02:38	はい。
1:02:39	で、この値としては 18159 となります。
1:02:43	次の 203 ページを見ていただきますと、
1:02:47	各算定式との比較した結果となっております。
1:02:53	赤線が衝突解析、そして緑が道路教習報償
1:02:58	流量FEMA式、青が道路所長となっております。先ほど申されたように、
1:03:05	例えば選手であれば大体衝突解析 6 メーター幅で、公益、
1:03:10	に作用してるというところで、6-1 に落としております。
1:03:14	道路協につきましてちょっと衝突形態の概念がありませんので、参考であります。ちょっと横に当たった時力と右のちょっと下の方にありますが、こういったところに、
1:03:26	土地ができるかなと思ってます。こちら見ていただきますと衝突解析は、他の算定式を包絡しているというところで、
1:03:34	設計衝突荷重の設定でありましてはこの衝突解析、こちらの結果を考慮していきたいと、いうふうを考えております。
1:03:43	はい。次、次のページ、204 ページをお願いいたします。
1:03:49	局所的な衝突荷重というところにつきましては、表でお示します通り、こういった荷重となっております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:57	衛藤井選手からぶつかる荷重 1171 番大きいというところで、局所的な荷重といたしましてはこの 1107、これを考えていきたいと思っております。
1:04:09	そして、都度後程ご説明いたしますが、
1:04:13	機関部の衝突による影響というところでは 400kN程度というところで、ここは包絡されているというふうに考えております。
1:04:23	まとめといたしまして
1:04:26	各算定式を、
1:04:28	解除算定した結果衝突回数が最も
1:04:32	安全側の結果がえられるということ。
1:04:35	確認できました。
1:04:36	それ
1:04:39	次の 205 ページをお願いいたします。
1:04:44	先ほど 200 ページにお示したフローに具体的な数値とか、記載したものととなっておりますが、
1:04:50	それを踏まえてちょっと設計書サカイを設定すると。
1:04:54	いうところになります。
1:04:56	施設全体に作用する衝突荷重といたしましては、206 ページにある、施設側の採用幅。
1:05:05	に踏まえて会場を設定していきたいと思っております。
1:05:10	そして、205 ページに戻りますが、局所的な集中荷重といたしましては、
1:05:16	1179 人増という荷重がありますのでそれを上回るように 1200kN、こういった荷重で、局所的な評価というところを確認していきたいと思っております。
1:05:31	はい。ちょっとこれまでですね少し
1:05:37	ご説明してきたところ、
1:05:39	例えばですね
1:05:41	主要設計書とか条線とする 2400 という数字を、
1:05:45	以前は少しご説明していたかと思いますが、今回改めて衝突解析やり直しをいたしまして、そしてその解析の荷重の考え方、そういうところを再整理して参りまして、
1:05:56	今回こういった、
1:05:58	方針で
1:05:59	設計を解除というところを考えております。
1:06:06	こちらで下、衝突解析結果と、会場の整理の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:13	これはちょっと説明以上となります。
1:06:16	ちょっとコメント回答の方にまた戻らせていただきます。
1:06:26	はい。では一番の資料、
1:06:30	7 ページお願いいたします。
1:06:41	はい。一番の 17 ページの中ほど、一つ下ぐらいに 47 番となります。
1:06:52	前大越相鉄の五部基準とあたりの荷重を踏まえて設定する衝突荷重の妥当性を説明すること。
1:06:58	ということでこちらにつきましては、
1:07:05	ちょっと、荷重の考え方が少し、
1:07:08	前回と変わっておりますが、全体の衝突荷重を下げ幅で割った平均衝突荷重、こちらは当局の局所的な荷重を上回っているというようなところがあって、
1:07:19	どういった設計荷重を設定するのかというところを説明するコメントをいただいたと認識しております。
1:07:27	こちらにつきましては、先ほどご説明させていただきましたが、197 ページ、4 番資料 197 ページ、お願いします。
1:07:49	197 ページで、
1:07:51	マスト灯、この施設全体に作用する荷重というところではまず考えるというところですけども、
1:07:59	衛藤は、198 ページにお示しをいたします通りこの
1:08:04	当分荷重で、平均衝突荷重を上回るの荷重というところが、ご指摘通りございますのでこういったところ、局所的な会場として、評価する方針といたしました。
1:08:15	こちら 47 番の回答は以上となります。
1:08:20	規制庁の服部です。
1:08:24	ただいまの説明に対して確認する点がある方お願いします。よろしいですか。ではただいまのコメントについては了とします。次お願いします。どうぞ。
1:08:36	はい。ありがとうございます。
1:08:38	続きまして
1:08:41	同様の少しをし、コメントをいただいておりますので、あわせて回答させていただきます。
1:08:47	一番の資料 11 ページ、お願いいたします。
1:09:00	のQA96 番になります。
1:09:04	こちら衝突解析に於いて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:08	ちょっと算定分ついて、その解析結果を示す前段においていきなりですね全分布的な荷重と1メートル対応する荷重と、そういったところ
1:09:19	は、
1:09:22	が出て参りましたのちょっと目的が、ちょっと唐突でわかりにくいというご質問いただいたかと思っております。
1:09:28	はい。
1:09:31	143 ページ 4 番資料の 143 ページをお願いいたします。
1:09:36	違うか。
1:09:42	あ、申しわけません。4 番の 126 ページですね。
1:09:56	126 ページの方にちょっと今回このフローを少し記載を見直しております。こちらの数、清戸塚上のところで、
1:10:04	ここで先ほどの全体的な荷重と医局長的な過剰という記載があって、
1:10:10	わかりにくいというところでまずこのフローにつきましては
1:10:14	普通、会場算定するところまでの記載としております。
1:10:18	そして 143 ページ。
1:10:24	解析結果をお示しするときに、
1:10:27	先ほどの旨、
1:10:29	ですね。
1:10:30	まずそうそう。
1:10:31	トータルの調達解除を確認するところ、そして局所的な荷重を確認する目的でその衝突過剰。
1:10:39	1 メーターあたりの荷重を確認するという記載をいたしました。
1:10:42	こちら、90、
1:10:47	6 番の回答は以上となります。
1:10:51	規制庁の服部です。96 番について何かあればお願いします。よろしいですか。では 96 番、すいませんではお願いしますどうぞ。
1:11:03	江崎ですけども、149 ページ見ていただくと、表の 4-5-6-7。
1:11:10	右の方は、
1:11:12	オク 5 号劇 1 メーター当たりの最大荷重というところ、(3)こうなってんだけど、
1:11:19	これ参考とるべきじゃない。違います。引き継ぎ事項なんだけど、
1:11:24	はい。中国電力浅尾です。はい。申し訳ありません。今回そういった 2 種類の荷重を整理するところでのこの参考すいません。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:32	消し忘れですかね、ちょっと知らない言葉となっております。閉会させていただきます。わかりましたそれはちょっと誤記ということで適正化してください。
1:11:43	規制庁の服部です。他あればお願いします。よろしいですか。では次お願いしますどうぞ。
1:11:52	ありがとうございます。続きまして一番の資料、同じく11ページになります。下から3行目、98番。
1:12:03	です。
1:12:07	はい。
1:12:08	こちらにつきましても
1:12:10	荷重、
1:12:13	その全体の荷重と市の荷重を出す目的というのを、最初にしたほうがわかりやすいというコメントをいただいたと思っております。
1:12:21	さこちら先ほどご説明させていただきました。
1:12:29	通りで、197ページをお願いいたします。
1:12:34	あっち
1:12:43	はい、197ページ、こちらは先ほど申し上げた通りそう。
1:12:49	シュン解析の結果を踏まえまして全体的にかかる荷重、そして、198ページで局所的な荷重というところが、
1:12:57	考え方が必要だろうというところを整理して参りました。以上となります。
1:13:04	では98、す。規制庁の服部です。では98ページ、8番について確認する点があればお願いします。
1:13:12	よろしいですか。はい、では、確認ができましたので次お願いしますどうぞ。
1:13:18	はい。
1:13:19	ありがとうございます。
1:13:20	続きまして
1:13:23	ちょっとまたすみません、ページが飛んで恐縮でございます。
1:13:28	7、
1:13:31	一番の資料7ページをお願いいたします。
1:13:41	7ページの48番。
1:13:44	こちらちょっと先ほど、タダウチ様からの
1:13:47	ご質問あって少し回答させていただきましたが、
1:13:51	衝突破壊に伴いまして船舶上量、重量が減ることで、荷重が減っていないかというところで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:59	4 番の資料 144 ページ。
1:14:09	はい。
1:14:18	はい。4 万 144 ページ、こちら、先週衝突のところになります、箇条書きのところさ、上から三つ目になります。
1:14:27	最大衝突荷重が発生している時刻につきましてその残存必要というのは、
1:14:32	衝突では 99.6%ということを確認しております、潜在測に伴うこの質量低下っていう、
1:14:40	という衝突荷重への影響というのは軽微というふうに判断をいたしました。
1:14:45	ただ、他の
1:14:48	所付けたにつきまして、同様に、9、一番、
1:14:52	小さくても 96.2%というところで、影響はないというふうに、軽微というふうに判断をしております。
1:14:59	はい。48 番の回答は以上となります。
1:15:03	規制庁の服部です。では確認する点があればお願いします。よろしいですか。
1:15:07	はい。
1:15:09	では 48 番については了といたします。では次お願いしますどうぞ。
1:15:18	ありがとうございます続きまして、
1:15:23	申し訳ないステージをまた戻ります一番の資料、11 ページになります。
1:15:31	申し訳ありません。
1:15:32	はい。11 ページのところの 97 番、下から 4 行目になります。
1:15:39	初期配置が前面海域の場合の荷重の算定について、Short設計を会場の設置の考え方を説明すること、道路キョウノ消防署の考え方というところになります。
1:15:51	そして 202 ページお願いいたします 4 番の資料の 202 ページです。
1:16:06	どうせ少々お待ちください。
1:16:12	はい。ごめんなさい。202 ページの上の
1:16:17	所通りと証書の記載をしております
1:16:20	同居証書の算定式とガス船舶の総重量から算定するところを踏まえまして、
1:16:26	実全体の衝突荷重である施設全体に作用する衝突荷重ということに相当するというふうに考えております。以上となります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:36	規制庁の服部です。では 97 番について確認する点があればお願いします。
1:16:43	はい。規制庁吉良です回答についてはこれで結構かと思うんですけど、202 ページ
1:16:50	なお書きのところで招待の算定方法はっていうところなんですけど、これ一がたいし、そこを対象として 199 ページであればこれ 4、
1:17:00	ポツ、5 ポツ 6 の両括弧 2 かなというふうに思いますのでちょっと確認していただいて、
1:17:09	適正化していただければと思います。はい。
1:17:13	はい。上田です。大変失礼いたしましたこちら 4 ポツ 5 ポツ、6-2 が正しくなります。
1:17:20	なりますちょっとすいません、次回、修正をさせていただきます。
1:17:25	規制庁のハツリです。他あればお願いします。
1:17:28	よろしいですか。
1:17:29	では次お願いしますどうぞ。
1:17:32	はい。続きまして一番の資料 100、
1:17:36	の一番下になります。コメントNo. 100 となります。
1:17:41	はい。
1:17:43	こちらにつきまして設計衝突荷重のうち
1:17:46	分布的な衝突会場についてはその設定方法を説明すること。
1:17:50	というところで、先ほど、
1:17:52	ご説明させていただきまして、しておりますが、施設全体に作用する荷重というところで、今回、考えております。
1:18:00	そして 2、
1:18:01	いや、
1:18:03	9、
1:18:04	201 ページ。
1:18:06	なりますが、
1:18:09	200 実績全体に作用する衝突荷重というところで衝突解析、またそれ以降のところでも道路協FEMA、そういったところと比較いたしまして、衝突解析、最も安全側の解消となっていることを確認した上で、
1:18:25	205 ページのフローの施設に 206 ページの表の通り設計衝突荷重を設定する旨を記載しました。
1:18:33	こちら 100 番の回答以上となります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:36	規制庁の服部です。では 100 番について確認する点があればお願いします。
1:18:43	はい。スギタという回答については基本的に可能量としてはいいんですが、一つちょっと確認ですけど、205 ページのところ 206 ページでもいいんですけど、
1:18:54	評価対象構造物の延長に応じて設定ってあるんですけど、この延長っていうのが、
1:19:03	長くて長いものなので、そのブロック化なのか、ちょっと何かその辺がちょっとわからなかったんですけど、その辺、どういうことを想定してるか、説明いただけますか。
1:19:16	はい。中国電力相澤です。こちらにつきましては
1:19:21	はい。
1:19:22	ちょっと今回、後程ご説明させていただこうと思っておりましたがすみません、316 ページ。
1:19:30	お願いいたします。
1:19:40	添付資料 9 というところで
1:19:43	兵庫調達会長の具体。
1:19:45	ある程度ちょっと、
1:19:47	解析においてどういうふうにかけていくかというところ、基本的な考え方というところをちょっと少し整理して参りました。
1:19:55	316 ページの図に、こちらがそのイメージ図となっております。
1:20:01	左に施設全体を採用すると使えるってことでこの形でいきますと横から当たるような会社全体で受ける仲條というのを考えております。
1:20:11	そして右の方に局所的な衝突荷重というところで、
1:20:14	サトウ分布では表せない表、考慮し切れないようなところはきちんと確認していくというところがございます。
1:20:22	317 ページの方に、
1:20:26	少し会場にかけるイメージというのを書いております。
1:20:29	こちらへ行きますとまだ、
1:20:31	おっしゃる通り防波壁のワンプロック当たりかかる荷重、こちらが最もそのトータルとして、おっきな荷重がかかるということになると思いますので、
1:20:40	まずはこちらで
1:20:44	こういう荷重をかけて評価をしていきたいというふうに考えております。
1:20:48	はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:52	2 番。
1:20:53	ちょっといいですか。もう 317 ページでこのイメージ図で、現実的に、24 メーター。
1:21:01	というものが、
1:21:04	あるのかどうなのかっていうことをちょっと聞きたいんですけど。
1:21:10	はい。はい、伊佐です。そうですね。例えば防波壁何か主力平均。
1:21:18	計算があるような場合につきましてこちらワンプロック当たり 20 メーターとか、そういった会社が延長となっております。それ、そういったワンプロックに応じて荷重を与えていくというふうになるかなと考えております。
1:21:33	わかりましたちょっとその辺も考え方がわかったほうがいいかな詳細は施設の耐震とか強度の評価だと思うんですけど、ちょっとその延長って何なのかなっていうのはわかるようにしていただければというふうに思いますので、
1:21:48	お願いします。
1:21:53	規制庁のハットリです。他あればお願いします。
1:21:57	よろしいですか。では次お願いしますどうぞ。
1:22:03	はい。中国電力の磯です。
1:22:05	それでは、こちらで
1:22:08	本店側の衝突荷重の応答解析の結果、また鍛冶の整理の考え方というところをご回答させていただきました。
1:22:15	dす。
1:22:17	一番の資料、6 ページお願いいたします。
1:22:25	6 ページの
1:22:28	37 番、下から 2 行目にありますが、期間分の影響というところで、
1:22:33	今回改めて、
1:22:35	ご説明させていただきたいと思います。
1:22:37	と、4 番の資料で 268 ページ、お願いいたします。
1:23:00	はい 268 ページにあります添付資料 6 というところで機関部における衝突影響の確認という資料となります。
1:23:10	こちらにつきまして本店側の先ほどご説明したところでござ言えば、せん断破壊という期間まで到達しないというところを確認をしております。
1:23:20	そして
1:23:22	今後この期間分の影響というところ観点でいきますと船体破壊、こちらは大きく影響してくると思っております。これに大きく、
1:23:31	関わる物性値といたしましてはこの破壊ひずみというところが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:35	あると思いますのでこちらについて
1:23:39	少しこの期間分の影響っていう観点からですね、皆収集見なあ。
1:23:45	少し変えてみまして検討して参りました。
1:23:50	えと 136 ページお願いいたします。
1:23:54	260、すみません 269 ページお願いします。
1:24:05	169 ページで基本、もう物性値としては他のものと書いてあるけど破壊ひずみだけは少し今回変えて参りました表にお示します通り、
1:24:14	右が今回本店がご説明した、
1:24:19	FRPの構成則、そして壊れやすくなるように
1:24:24	左側のように、エラー
1:24:26	は、曲げ強度に相当するはずなんがあった時点で壊れるというような、シェル要素が消えるというような設定をして、解析をして参りました。
1:24:39	その結果といたしまして 272 ページお願いいたします。
1:24:46	はい。272 ページからその衝突状況、各ケースのものを載せております。
1:24:52	こちらでいきますとちょっとすべてのケースについて期間分にはほぼ到達しないと、到達しないということが、
1:24:59	結果となりました。
1:25:01	ただ、273 ページにお示しています。横からショートつけ決算になります。上が図になります。
1:25:11	こちらについては
1:25:13	期間分、最高益には到達してはいないんですけども、最も接近したというところで、
1:25:21	こちら期間の影響検討にあたってこの真横の衝突ケース、こちらを使って少し
1:25:29	検討して参りました。
1:25:31	はい。
1:25:33	275 ページお願いいたします。
1:25:40	期間の衝突の影響検討というところで、こちら、
1:25:46	衝突速度のグラフをお示しておりますが、
1:25:50	最も接近するところでは大体 0、0.40 秒というふうになっております。
1:25:56	こちらの速度は
1:25:59	1.42 メートルアイセックというところで、保守的に切り上げまして、2.0 メーター/secで、期間分がぶつかるといふように仮定をして衝突荷重のほうを算定しました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:13	276 ページ。
1:26:15	に
1:26:17	277 ページにですね、今回期間分に設定する軸剛性というところの、
1:26:24	を整理しております。
1:26:27	では船舶期間の軸剛性としては既車両の軸剛性を用いて算定するという ことで、女川さんと同様の考え方をしております。
1:26:36	そして 277 ページに、
1:26:39	各、
1:26:41	車両の軸剛性というところの文献を幾つか整理して参りまして、
1:26:46	下の、
1:26:48	5 行目になりますが、そういった文献等につきまして大型乗用車という ところの
1:26:56	軸剛性を乗せ載っているというふうに思います。この
1:27:00	軸大型需要さん、規模、定義といいますかそこら辺を明確に記載されて おりませんが、一般的に
1:27:07	バス等の大型乗用車は普通の
1:27:10	自動車でも
1:27:11	重いというところがございまして今回、期間分。
1:27:15	の衝突を考える際には
1:27:19	最も大きな大型乗用車の軸剛性というものを用いて算定することといた しました。
1:27:25	そしてその結果が 278 ページ。
1:27:28	となっております。
1:27:31	道路教習方法書とFEMA、両方の
1:27:35	算定式で検討して参りまして、動力手法書が、
1:27:40	一番下の表になりますが 8kN。
1:27:43	FEMAが 389 依存というところで、
1:27:46	機関部の衝突荷重といたしましては、アンゼンガワニFEMAの荷重を 採用することといたしました。
1:27:55	そして申し上げます。
1:27:58	時間分、衝突人や船体の方も同時にショートするというのでこの同時 作用というものを郡考慮いたします。
1:28:05	これにつきましてはセンターにつきましては、これまで通り、衝突解析の 結果から確認をして参りたいと思っております。
1:28:15	で、ちょっと大変申しわけませんここで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:19	動きがございましてとどく今ここで載せている結果、ちょっと違う。
1:28:24	大変申し訳ないんですがちょっと違う結果を載せてしまっておりました。
1:28:27	で、ちょっと今回エンジンと重ね合わせる荷重といたしまして、
1:28:33	エンジンが増し、
1:28:35	ある程度船に比べて小さいというところで1メートル幅の荷重というふう に考えております。で、
1:28:41	284 ページ。
1:28:45	になりますが、
1:28:49	284 ページの中程に赤く数字を載せております。
1:28:55	こちら、期間分が衝突すると仮定した時の
1:28:59	時刻の最も大きくなる荷重が28kNと書いておりますが、
1:29:04	こちらすみません正しくはちょっと56kNとなります。
1:29:12	大変失礼いたしました。こちらまた結果の方を精査し、
1:29:16	差し替えさせていただきたいと、修正させていただきたいと思います。
1:29:21	衛藤まとめといたしまして、289 ページになります。
1:29:28	こちら表でお示しているところ、これを
1:29:33	基幹部署との影響確認というところで、衝突解析28と書いてあるが56 となります。
1:29:39	結論としては、変わらず、主、
1:29:43	資本編側でご説明いたしました、1107kN、こちらの方が大きいという ところで、今回、
1:29:50	総トン数19体につきまして、この期間分の影響というのは、
1:29:56	本運転が確認した結果に包絡されるというところを確認いたしました。
1:30:01	はい。
1:30:03	こちらで衛藤。
1:30:05	コメント37番の回答となります。
1:30:08	規制庁の服部です。では37番について確認する点があれば願います。
1:30:29	すいません規制庁のタダウチですけれども、200、
1:30:34	69 ページなんですけれども、添付資料6のところ、
1:30:40	でね、
1:30:43	これさっきもちょっと言ったんですけど、壁に与える影響だ、評価する つて話においては、限りなく剛性持ってて、壊れないのが一番。
1:30:55	荷重としては重くなるよって話を言ったと思うんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:58	じゃあ、T円期間分が飛び出す飛び出さないの話は逆なんじゃないかなって気がしてね。これ 260 を設定しているんだけど、
1:31:08	これは、これでいいんですかかなり丈夫な状態で、期間分が飛び出さないって話を仮定してしまっていないかねっていうところについてはいかがでしょうか。
1:31:22	はい、中国電力伊佐です。
1:31:25	はい。今回ですねこの期間分の影響確認というところで行きますと、その期間の衝突、
1:31:33	というところと、船体の衝突、この二つを、の同時作用というところがあるとっております。
1:31:40	期間ブーにつきましては早く見つかる可能性は、
1:31:45	高くなるというところで破壊ひずみというところか、
1:31:49	今回見直しをしまして、また船体の衝突荷重というところにつきましてはやっぱり、
1:31:54	もともと設定していた物性値の方が、保守的な値になるだろうというところで、
1:32:00	今回こういった設定やって、検討して参りました。以上です。
1:32:06	はい。多分パー計本来してやっているっていう考えなのかなと思うんですけどその場合分けしたのに対して、どういう考え方でどういうふうに物例えば無線の設定をするのかっていうところは、
1:32:21	やってもらった方がいいのかなってで、ごめんなさい聞き漏らしちゃったかもしれんけど結局、260 で、
1:32:28	期間分は到達しないよって話になってんでしたっけここは。
1:32:36	はい、中国電力の伊佐です。はい。
1:32:39	273 ページにお示しをしておりますが、今回の結果で行きますと、衝突はAC
1:32:50	それは、解析上はしていないというふうになっております。
1:32:55	ただ、アマヤ 260 でやったって話。はい。
1:33:00	その小後半で何か期間分が衝突しますよって話については、260 を前提として、それ、何か評価してるんですか。
1:33:15	はい、中国電力の伊佐です。はい。
1:33:18	ご理解の通りでございます。
1:33:20	そうするとちょっとそこについては何となく、
1:33:24	考え方としてそれで本当に保守的なのかどうかっていうのは、ちょっと考え方の整理を今一度していただいて説明いただきたいと思うんですけど

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	いかがでしょうか。はい。またご説明はさせていただきたいと思えますけれども、
1:33:38	今回
1:33:39	破壊ひずみに影響が一番大きいと考えましたのはやはり、
1:33:44	前回までのいろいろな検討をしていく中で、物が残る。
1:33:50	組成として残るとというのが一番、その影響として大きいと。
1:33:55	衛藤壊れていかないというところがわかっておりましたので、今回それをなくす、より早く消えていくような形にさすことが一番その近づくんじやないかと。
1:34:07	いうことで、
1:34:08	そこが今回、
1:34:12	特にエンジンのところにぶつかるというところの影響という観点ではそこが一番大きいパラメーターだというふうに考えて今回ちょっと持って参りましたので、
1:34:20	おっしゃられる通り強度についてもあるんですけども強度についてはそこに、今回かなり大きな荷重になりますので、おそらく瞬時に壊れていってるところは変わらないんじゃないかと、ということでひずみというところを一番、
1:34:33	影響が大きいとして今回持って参りました。で、ちょっとその辺りがですねあまり説明として足りてないところもありましたので、ちょっともう少し拡充はさせていただくほうがいいと思えます。以上です。
1:34:45	説明としてはしっかりとさせていただきたいと思えます。
1:34:51	それともう一つなんですけれども、
1:35:04	保冷機関部が飛び出して飛び出さない話っていうのは、例えば機関部の取付部がはもうどうやっても外れないっていう前提でやってるのか、そういったものが、
1:35:20	外れてしまう衝突によって外れてしまうってことまで、
1:35:25	一応やってるのか、要は単独で飛び出して食う飛んでいくのか、それとも選対と一緒に荷重があってそれで壊していくのかって話にいうと少なくともそこら辺の議論でなんかやったりしてます。
1:35:39	はい。中国電力のヨシツグでございます
1:35:43	まず印字についての、このものではモデル化最終的にできてませんで、
1:35:50	大きな理由というのがですね先ほどおっしゃったのもモデル化しようとするエンジンの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:55	その剛性というのはどういったものにするのかっていうのが一つわからなかったというメーカーにも確認したんですが、やはりちょっとノウハウの部分でお答えいただけないというのが正直なところでございます。
1:36:06	取り付けについては、かなり剛な構造で、ボルト等で取り付けられているというのは我々も確認を現地でちょっとさせていただきました。ですので、
1:36:17	江藤、基本的には今の位置が大きくとり変わることはないというふうに思っております。で、
1:36:23	131 ページ、④の資料 131 ページに、
1:36:28	エンジンの実際の位置、
1:36:30	大きさをちょっとお示しているものがございます。で、
1:36:34	やはりエンジンはかなり、下の方にある方が、やっぱり転ばないっていうか検討しないということで、
1:36:44	この龍ポツ、一番下にずっと繋がってる流小塚ここはかなり下のところにあるんですがそこにはめ込むような形でエンジンが
1:36:53	設定されておりますので、これを大きく逸脱するような現象というのはあまり考えられないのかなというふうに整理しております。
1:37:02	はい規制庁タダウチそしたらエンジン、基幹部は、流ポツ等ほぼ一体結合するような形で、かなり強固に結束っちゃうかね固定されているので想定されるものとしては、
1:37:16	センターから単独で止めて管理会行きませんというような前提が置けるのかどうかっていうところは、どっかに入れといた方がいいんじゃないかなと思います。
1:37:25	はい。ありがとうございます中国電力吉富ですおっしゃられる通り、そこは一つエンジンの気持ちだと思いますので、我々確認した内容をですね、地域させていただきたいと思います。以上です。
1:37:49	滝ですけども。
1:37:51	例えば今 130、131 ページで説明があったの期間分。
1:37:56	これの寸法、
1:37:58	D、
1:37:59	19tとして、代表性って何か確認されてるんですけどっけ。
1:38:06	ていうのはですね、ここ、いわゆるちっちゃいのでお前、前ですね 6 月のヒアリングやったときもっと大きくて、今回つくちっちゃくなって多分、
1:38:17	もう来たぶつかるかぶつからないかが一番大きいのは、まず話なんですよね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:22	全体のどこまで精度をもって、衝突果樹を
1:38:28	やっていくかぶつからないという前提であればある程度念のためという出現なるでしょうし、その後段で計算してるものは、
1:38:36	だけど、
1:38:37	そうするとその寸法っていうのが、飛田、結構重要になってくるわけですねぶつかる見つからないっていう、そういったときにこの 19tとして
1:38:48	寸法は代表性があるのかどうか、そこが、
1:38:51	ちょっと曖昧なんであれば、実際に衝突した果樹で、
1:38:57	今の設計荷重は妥当なんだっていう路線に切り換えなきゃいけないかなと思っていて、我々の判断基準もね、
1:39:04	だんなので、まずは今ぶつからないっていうことを前提で話は聞いているので、そのぶつからないとした時の機関部の寸法、
1:39:14	これは代表性として、
1:39:16	どう
1:39:18	妥当性を説明できますかっていうことで、
1:39:21	はい。中国電力ヨシツグです。まず、131 ページにエンジン機関部の寸法、記載させていただいております。
1:39:32	全体平面の上面っていうやつの下のところござい、仁木幹部って書いてあるところですが、
1:39:38	これは今回 19 度の船舶の
1:39:44	図面等をいただいた時にですねエンジンの方シキイまで教えていただきまして、メーカーの方のカタログ等確認をさせていただいて、大体の数、
1:39:54	はあるんですけどちょっと寸法は、
1:39:56	明確なものはないので我々の方で、
1:39:59	メーカーが書いてある図面から寸法を拾ったものでございます。で、長さ 2 メーター幅が 63 タカダ 1.5 メーターとなっています。で、
1:40:09	とニアリーイコールにしておりますのは、やはりフゾクの配管といいますか、そういったものがございまして、
1:40:15	今回衝突解析でやった時もまあ、あのぶつからないと言って過程でぶつけますって言うてるのがそういったところの、
1:40:25	ちょっと少し大きめなところで、当たってる可能性もあるということで今回そのあたってはいいんや解析上は立ってないという結果だったんですけども少しその近傍のところの流速を見て評価をしたということ今回ささせていただいております。
1:40:39	19tの代表性については少し、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:42	この辺り、記載のほうを追記させていただきたいと思います。よろしくお願いします。
1:40:48	ロジックとしてね、吉浦さん基本的にぶつからないっていう前提で、確認しましたと。
1:40:56	ですが、不確かさとか念のため、
1:40:59	ぶつかるとして荷重を割り出してるっていう。
1:41:02	ロジックなんですけど、それでよろしいんですね。
1:41:05	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:41:09	基本ケースとしてぶつからないっていうのをまず前提で出させていただきまして塑性ひずみを考慮しない場合で、
1:41:17	さらにぶつかりやすくして、そのときの流速、モヤイで衝突荷重というものを算定したという位置付けですので今江崎さんがおっしゃったロジックでございます。
1:41:29	電中見て、わかったようなんですけど、基本的には衛星を、
1:41:36	FRPの衛星を見なかったとしても、今回はぶつからないっていうところまで確認できたということでもよろしいですよ。
1:41:44	はい。中国電力のヨシツグでございます。その通りでございます。
1:41:52	はい。
1:41:53	規制庁の服部です。すみません。
1:41:56	私、1個だけちょっと聞き逃したんで確認、ちょっとわかんなかった確認したいんですけど、
1:42:02	269 ページここに二つのコウセイソクがあって、
1:42:06	この後 272 ページの図っていうのは、どっち側の構成則を使ってやった結果なんですかこれ。
1:42:16	はい。中国電力の伊佐です。はい。今回この全部省力っていうのは、その期間分が衝突しやすくなるようにというところで左側のこのコウセイソクを使って、この 272 ページの
1:42:31	検討しておりますちょっとこちら今のちょっと並列で書いてどっちがどっちっていうのちょっとわかりにくい記載になってるかと思っておりますちょっとこちら右側に参考とか付けるとかちょっとしまして、
1:42:43	させていただきたいと思います。
1:42:45	規制庁の服部です。わかりました 6 行目あたり 2、表 2-1 の通り変更して、そっか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:53	ちょっとわかんないですねこの表現はどっちが使ってるかわかんないですね。どっちが使ってるかちょっと明確になるようにしていただければと思いますのでお願いします。
1:43:01	ではすみません少し時間は過ぎてるんですがコメント回答は一通り、
1:43:06	いきたいと思いますが、まだあと1個ですかね、はいではあと一つのコメント回答とあと適正化の方もあと少し行っていただいて、後、午前の部は終了したいと思いますので引き続きお願いしますどうぞ。
1:43:22	はい。中国電力伊佐です。説明が長くなってしまって申し訳ありません。最後のコメント回答となります。一番の資料7ページ。
1:43:35	44番、はい、おっしゃる通りです44番、こちらで最後の、
1:43:41	はい。
1:43:43	一応少し資料の方で説明させていただけたらと、4番の方で資料で302ページをお願いいたします。
1:43:55	はい。
1:43:56	はい。もう。はい。
1:43:58	こちら今回添付資料8というところで代表性、今回19t代表性確認というところを確認して参りました。
1:44:06	この添付資料8ですね、少し、もう、
1:44:10	要点だけご説明させていただきますが、
1:44:13	ちょっと小型船舶の方は期間分の衝突早くぶつかるじゃないかという観点で
1:44:21	末を確認して参りました。で、対象として今回相当痛快実験とかですねやっていた総トン数2トン、この船舶を用いて、
1:44:30	確認をして参りました。
1:44:32	皆さん、
1:44:34	春木の構成則と先ほど同じように安くなるように、
1:44:39	曲げ強度を出したらええす。
1:44:41	主要素が消えると塑性ひずみは見ないという状況になります。
1:44:47	はい。
1:44:48	結果といたしまして、308ページ。
1:44:52	310ページを見ていただけたらと思いますが、今回、
1:44:58	衛藤駅間分の衝突が一番出るであろう、真横衝突すると、一応念のため船尾衝突この2ケースを実施しました。
1:45:07	こちらどちらとも当機関部衝突しないという結果に至りました。
1:45:13	その考察といたしまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:16	313 ページお願いいたします。
1:45:22	もともと先ほど添付資料 6 でご説明いたしました 19t 船舶、
1:45:27	の力積と今回の添付資料 8 でご説明した、実施した解析の力積こちらを書いております。こちら見ていただきますと、
1:45:38	大体 11 倍ぐらいの差があるというところでございます。その理由といたしましては、その次の 314 ページ。
1:45:45	の一番上のグラフになりますが、
1:45:47	そもそも重量が全然違うというところだと思っております。
1:45:52	相当数に飛んであればその
1:45:55	A 層重量としましては、2 課計算の 6 というふうに考えております。
1:45:59	数 20 トンでは書いてありますがこちら 60 トンになりますので、大体 10 倍が下がると。
1:46:06	それに対しまして、その船が壊れる。
1:46:09	壊れないとその耐力側といいますかそういった観点でいきます。
1:46:15	板厚があります。今回我々は
1:46:20	スズキ
1:46:22	なんか、
1:46:24	規則に従って江藤曾根の寸法に応じて板厚を決めております。これでいきますと、
1:46:31	衛藤。
1:46:33	第 1 回、
1:46:34	1.4 倍。
1:46:36	両者変わらない。また、鮎幅というところで見ても 2 倍しか変わらないというところで、
1:46:41	相当数大きい物 19t のような大きなものについてエネルギーが、に対しまして
1:46:48	全体がはそこまで、
1:46:51	小さく、壊れやすくなっていないというところもあって、今回その 2t の解析結果としてはエンジン
1:46:59	期間の衝突まで至らなかったというふうに判断をしております。
1:47:02	はい。315 ページをお願いいたします。
1:47:08	はい。
1:47:10	では最後の表になりますが、こちらは先ほどご説明させていただいた通りでございます。この 2t というのは、といいますか、僕は 19 等の船舶というはその期間分の影響というところ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:21	踏まえましても、代表性があるというふうを考えております。
1:47:25	コメント回答以上となります。
1:47:30	規制庁の服部です。では 44 番について確認する点があればお願いします。
1:47:48	規制庁のハツトリです。はい特にないようですので 44 番については了としたいと思います。
1:47:54	比木コメント回答は以上でよろしいですね。適正化について確認説明するところがあれば、ざっと。
1:48:03	お願いしますが、いかがでしょうかどうぞ。
1:48:07	はい。中国電力伊佐です。適正化につきましては、すいません
1:48:13	今日はちょっと誤記であったりちょっと記載の表現の統一だったりそういったところがございますのでちょっと説明は割愛させていただけたらと思っております。
1:48:23	はい。
1:48:28	申し訳ありません。
1:48:30	一番の資料で 9 ページになりますちょっとすみません、いろいろ申し訳ございません。
1:48:38	63 番で今回該当というときんあ、60。
1:48:44	4、
1:48:45	中国電力のヨシツグでござ 64 番、後日回答と書いてあるんですこれ前回の時にコメント回答させていただいてましたのでまた適正化させていただきます。
1:48:56	以上です。
1:48:58	規制庁の服部です。すいません言ってることわかんなかったんですけど、64 番は後日 50 サイトウと書いてあるんですけども、これ前回、
1:49:09	ご説明をさせていただいて本来済みという状況だったんですけどもちょっとまた後日回答という記載が残ってりましたのでその動きの適正をさしていただきたいと思います。
1:49:19	規制庁のハツタですはいわかりました誤記ということでグレーになるということに理解をしました。
1:49:25	では適正化については特に説明するところがないということ、ところで、
1:49:32	ちょっと時間が過ぎてますので、引き続き、この漂流物衝突荷重等のヒアリングについては、午後また時間をとりまして、
1:49:44	日改めて何点か確認させていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:52	では、午前の部として特にすいませんもう1点、最後に確認したいんですけれども、中国電力本社側の、
1:50:01	永田さんから回答がまだられていないので、その回答をもって午前の終了としたいと思いますがいかがでしょうかどうぞ。
1:50:11	はい。中国電力の長田です。はい、ありがとうございます。
1:50:16	チギラさんからご指摘いただきました2番の資料の59ページの件、ご回答させていただきます。
1:50:26	まず、52番の資料59ページ、図3-32ですけれども、まずこの原子炉器海水系配管がどのようになっているかといいますと、
1:50:38	ここの黄色の部分から、TTで、
1:50:44	この上条、説明資料上の上方向に配管が出ましてそこから丸が2個ありますけどこれが上部に立ち上がります。
1:50:55	これで地表面L8.8、8.5ですねそこを貫通して、上から放水槽に戻すというラインでございます。
1:51:04	こちらの方は、色でも右に凡例を示しておりますけれども、こちらのつい追加したところも、浸水防護施設として、
1:51:14	はい津波のSクラスとして設計をいたします。これが文章でどこに表現されてるかということですが、同じ資料の21ページご覧ください。
1:51:28	はいこちらの、まず外郭防護のところ、津波からの流入経路があるかというところの表でございます表3-4。
1:51:39	こちらの海水系の、失礼しました。21ページ。
1:51:46	はい。はい。
1:51:48	こちらの、
1:51:52	そうですね海水系の原子炉補機海水系の縫製配管というものに含まれます。それから、同じ。
1:52:03	資料の45ページご覧ください。
1:52:07	こちらにも記載しておりますこちらの内郭防護のところでございますが、45ページの上から数量のところ、同じく、ほぼ原子炉機械。すいません、正確に6行目。
1:52:23	原子力海水系配管放水配管というのございまして、第2パラグラフ、このため原子炉器海水系放水配管及びということで、ここも
1:52:33	はい、基準地震動Ssに対してバウンダリを保持させると、先ほど申しました浸水防止設備として位置づけるということで説明をしております。
1:52:44	はい。説明の方は以上となります。
1:52:50	規制庁の服部ですはい。わかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:54	はい。今の説明はわかりました。
1:52:58	よろしいですかね
1:53:01	ちょっと私の記憶だと前回この断面図できちんと示したところがあると思いますので、ほぼ今日の資料には載っていないかもしれないんですけども、
1:53:12	何かそういう記憶があるので、またそれについてまた今後説明していただければと思いますがよろしいでしょうかどうぞ。
1:53:21	はい。中国電力の長田です。断面図ちょっと資料の確認しましたが、こちらの耐震設計の方で、もともとご説明をさせていただいた内容、
1:53:33	を反映しておりますので、おそらくですけども耐震設計の方でご覧いただいたのかと思いますこの辺の配管のルーティング関係は、ほとんどが
1:53:44	はい、ちょっと津波のところでは平面図でお示しさせていただいているというのが今現状でございます。以上です。
1:53:52	規制庁の服部です。
1:53:55	何だ。
1:53:57	ただこれ津波の話ですので、流入経路にならないかとかそこら辺の説明は必要だと思いますので今後改めて説明をいただきたいと思いますがよろしいでしょうかどうぞ。
1:54:08	はい。中国電力の方で失礼しましたはいどこかに断面図を。はい。ちょっと追加を。
1:54:15	して、またご説明させていただきたいと思います。
1:54:19	以上です。規制庁のハツトリですはいわかりました。
1:54:22	では他にないようであれば午前中のヒアリングを終了いたします。どうもありがとうございました。
1:54:30	ありがとうございました。
一時中断	
0:00:03	規制庁のハツトリです。
0:00:06	ただいまから、島根 2 号機設工認についてヒアリングを開始いたします。
0:00:11	今回のヒアリングは、本日の午前中のヒアリングの続きになります。
0:00:17	テーマとしては、
0:00:20	耐津波設計方針の、
0:00:22	津波漂流物関係等になりますが、よろしいでしょうか。どうぞ。
0:00:28	はい。中国電力の伊佐です。はい。よろしく願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:00:33	規制庁の服部です。はい。午前中の続きになりますので資料の確認とかそういうのはありませんので、中国電力側から追加で説明するところがあればお願いしますどうぞ。
0:00:51	はい。中国電力の宗です。それでは衛藤。
0:00:56	1点だけご説明をさせていただけたらと思います。
0:01:00	4番の資料で補足説明書の方になりますが、通し番号で316ページ。
0:01:07	をお願いいたします。
0:01:16	え。
0:01:17	316ページ添付資料9というところで漂流物衝突荷重の差異化方法。
0:01:22	先ほど午前中の方でも少し触れさせていただきましたこちらについて
0:01:26	ご説明をさせていただけたらと思っております。
0:01:30	はい。衛藤。
0:01:31	316ページに載せているこの図につきましては
0:01:36	今回ご説明いたしました2種類の荷重のイメージを記載したものとなっております。
0:01:40	そして317ページにつきまして
0:01:44	施設全体に作用する衝突荷重ということで、
0:01:49	図のような格好で標準対象構造物の延長に応じて下、
0:01:55	トータルの衝突荷重をかけて評価していくというところを考えております。
0:02:01	そして、318ページところで、この施設全体の採用数と使える。
0:02:08	というところで
0:02:09	考慮し切れない局所的な衝突荷重というところがあることからこちらもかけていくこと、
0:02:16	考慮していきたいと思っております。
0:02:18	こちらにつきましてはこちら、図でお示します通り、
0:02:22	が、書き方を
0:02:24	考えております。荷重としては1290となります。
0:02:29	そして評価する部材等につきまして、につきましては、
0:02:33	ちょっと、
0:02:34	この構造物を支持する背景を支持するような、例えば杭とかそういったものにつきましてはトータルでかかる。
0:02:40	先ほどの支援センターに対応する衝突荷重、こちらの方が大きいというところから、
0:02:46	こちらの局所た安全側の評価になると思っております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:51	一方で直接荷重を受ける擁壁こういったそういった部材につきましては、
0:02:59	この局所的な衝突荷重というところが、
0:03:02	見るべきところもあろうかと思imasるのでこちらは、
0:03:06	局所的な調達管理につきましてはこの直接受ける部材に対して評価していきたいと思っております。
0:03:13	319 ページお願いいたします。
0:03:18	はい。
0:03:19	今回島野房廃棄につきましては、コンクリート版による構成された漂流対策工というものを設置する計画としております。
0:03:28	そして図、上の図にお示します通り、このコンクリート版の厚さに応じて、衝突荷重が分散されるというところを期待しております。
0:03:38	そして実際に漂流対策を開始した場合における、会場の差異化方法というところで、下の図でお示しをしております。
0:03:46	このピンク色が漂流対策法の
0:03:49	となっております、
0:03:53	例として、局所的な会場として関わる時、
0:03:57	というところで1メートル1メートルで衝突すると。
0:04:00	そしてこの厚さが、仮に50センチとした場合
0:04:04	対策を開始しまして、荷重分散されることで、実際に降灰気がかかる荷重としては、
0:04:11	2メートル2メートルに伝達されるというところを考えております。
0:04:16	はい。
0:04:17	こちらにつきましては、
0:04:20	こういう荷重のかけ考え方、ちょっと基本的な考え方というところ我々こういうことを考えているというのを、ご説明させていただいたかったという資料となっております。
0:04:29	説明は以上となります。
0:04:33	シートのはつりですはいわかりました。
0:04:36	それでは規制庁側から資料全体に対して確認する点があればお願いしますどうぞ。
0:04:47	じゃ、規制庁のミウラです。ちょっと
0:04:51	午前中の会とちょっとダブるようなところもあるかもしれませんが少し確認をさせてください。
0:04:58	資料4の131ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:02	なんですけど、
0:05:04	ここに図が載っているわけですが、この
0:05:10	例えば上の図で見たときに、このグリーンの部分って何なんですか。
0:05:15	また下の水色の部分って、
0:05:18	あの看板のところにはSこれは何なんですかちょっと説明していただけますか。
0:05:25	はい。中国電力の伊佐です。こちらにつきましては
0:05:31	各室部屋となっております。なので
0:05:35	まずわかりやすいのが、下の、
0:05:39	ですねまず緑色のもの何かというところで
0:05:42	132 ページ見ていただきまして、
0:05:46	隔壁。
0:05:47	の緑色が見えております。そして先ほど乾パン 131 ページのところ、野市上から見た図、水色のところ何かというところ、ここ、要は看板に、
0:06:00	穴があいておましてその下の
0:06:04	鮎底が見えているような、
0:06:07	格好となっております。
0:06:09	以上となります。
0:06:10	規制庁の三重野です総数 131 ページの上の方の図っていうのは、
0:06:16	これが穴があいていて隔壁が見えてるっていう絵になってるんですか。
0:06:22	はい、中国電力のヨシツグでございますその通りでございますこの穴のところが
0:06:28	登坂野田行架空のところの溜めている水素のようなものがございまして、蓋そのものには、強度がないということで今モデル化していないという状況でございます。以上です。
0:06:41	わかりました。そうすると、FRP線の
0:06:47	構造物の方に非対称性はない。
0:06:50	ですから、
0:06:59	はい。
0:06:59	中国電力の伊佐です。はい。図面、
0:07:03	後で確認いたしました。がちょっとそういったご理解なると思っております。
0:07:08	以上です。はい規制庁の三浦です。そうするとね。
0:07:11	例えば 149 ページ。
0:07:16	これプロ、PPの方に移すやつなんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:21	ここで与えられてる衝撃荷重って非対称性持ってますよね。これはなぜですか。
0:07:38	はい。中国電力のヨシツグでございます。本来は
0:07:43	同様に出てくるんだと思うんですけども、解析上摩擦係数を持たせていくつかしております。
0:07:49	その関係で、
0:07:52	その衝突後の、ちょっと145ページのしかないのであれなんですけれども、ちょっとそこをやはり、
0:08:01	はい。145ページ、衝突後の状況で、船の、
0:08:07	状況の壊れ方が変わってきて、第1各駅にぶつかるときの荷重がピークになっております。その時に、
0:08:16	若干どちらかにずれているというような状況が、この解析モデル上は出ているというものでございます。以上です。
0:08:26	規制庁の三浦ですけど、これ、LS-DYNAの解析ってこういうこと起こるんですか。
0:08:32	いや構造的に全く同じ物性値が入っててね、で剛体にぶつけた時ってのは摩擦係数の話あまり関係なくて、
0:08:40	自然、こういうふうにならざるって非対称性が出るっていうのは、通常LS-DYNAそういうふうになるんですか、ちょっとピンとこないんですけど、力学的に、
0:09:13	中国電力の笹木です。
0:09:17	LS-DYNAは誘拐法で解かれてるもので、つり合い計算をしてるわけじゃないのです。ちょっとした誤差が積み重なって、少しずつ、
0:09:29	均等性が崩れるってことは、あるものだと認識しております。
0:09:41	ちょっとLS-DYNAD。
0:09:44	航空機落下とか見た時あんまりこういうふうにならないんだけど、
0:09:49	ちょっと少し何かそういう事例が、こういうもんなんだっていうことがもしもわかりながら今度教えていただけますか。
0:09:58	今江崎が言った時に全く対称性持っている構造物あったんだ。エネルギー的に工藤変わらないんでほとんど同じような数字が出てこないとちょっとおかしいと思ったので、ちょっとよろしくお願いします。
0:10:18	体積がおかしくないっていうことを、
0:10:23	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:10:27	現象について確認してまたご説明させていただきます衝突位置については

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:32	5 兵器番号の③と④の境界部分に中心に今ぶつけているような形にはしてあるので、それに結果してどうなってるのかっていうのをちょっともう少し分析していきたいと思いますすいません。解析の妥当性という面からも少し教えてください。
0:10:54	それとあと根井 223 ページ。
0:11:05	ここはちょっと増井がごめんなさい、233 ページです。ごめんなさい。
0:11:12	でここで、
0:11:14	単位体積重量を、
0:11:16	出してますよね。うんで最大値である 1.6 を採用しますと。
0:11:20	よく詰まってんですがこの結論そのものに生んだことではないんですが、
0:11:24	これ実際には、
0:11:27	57トン、1000 株分、
0:11:31	差分と密度共生。
0:11:34	してるわけじゃないですか。
0:11:35	そうすると、
0:11:38	あまり 1.6 を採用しますっていうのはそれほどね、この解析そのものに意味をなさないのかなというふうに思ったんですがいかがですか。
0:11:49	はい。中国電力のヨシツグでございます。はい。
0:11:53	そもそも 1.4 から 1.6 という、そんなに幅があるようなものではないということと、今おっしゃられた通りでございます。で、
0:12:01	只野先週からぶつかるときにはその密度増加をしてないところの部位もございまして、そういったところでは影響が多少なりともあるのかなということで大きいものを今選んでおります。以上です。わかりました。今の説明で結構です。
0:12:16	特にではないんですけど、
0:12:19	本当に 57トンと値 8. 何トンのその差分を全部水補正しちゃってるので、そちらの影響の方がずっと大きいかなというふうに思いました。
0:12:27	それとあと、262 ページ。
0:12:33	これちょっとクリアにしておきたいんですけど、
0:12:37	女川がやはりFEMAで式で、
0:12:42	衝突荷重を求めているんですよ。ナカノ時は総トン数 5 トンで、
0:12:49	流速が 13 メーターっていう形で、
0:12:51	やってるんですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:56	そのときの女川で求められた数字ってのは 1215 ぐらいだったかな、今回、
0:13:03	島根で求めたのは 1815 だということで、重量とか、流速考えてちょっともう、この差が小さいなと。
0:13:12	いうのをちょっと思いましたんでその要因として、
0:13:15	どうも大きいのが、
0:13:19	受講生求めるんだ選手系譜傾斜部の長さ
0:13:24	これが結構数値として聞いていて、あともう 1 個が先週角度、
0:13:31	女川土木学会しきいでやってるので、
0:13:35	0.08Lの何とかっていうんで、Dを求めて、それから、先週、携帯ってのは、0.25 かな、0.25dかなんかでも銅メダルで 39 センチぐらい。
0:13:49	しか見てないんですよ。その差がね。
0:13:51	今回、島野の場合は、FRP線が限定できてるってことで計測値を求めてるってことで、
0:13:59	尾上フクマの式との値の差がね、女川との差が出てくるんだろうと。
0:14:04	いうふうに思ってます。
0:14:06	そうするとね、
0:14:08	今度は、その計測結果っていうのが、
0:14:12	どういうふうに、その計測結果を求めてどういう部分を見てるのかと。
0:14:19	いうことをちゃんと明確にしとき、計算結果あるんで、
0:14:22	受講生求めるときにあえて土木証に戻ってでかい数字をやれっていうのはまたちょっとおかしい話なので、これはこれでいいとは思んですが、
0:14:31	例えば 130 ページ。
0:14:35	見ていただいて、
0:14:38	ここにこう、
0:14:40	図が載ってますよね。
0:14:43	ここ今回、先週傾斜部の長さってのはこれ、どこの分とってます。
0:14:55	中国電力の笹木です。後、ご質問ありました件ですけども、
0:15:01	先週傾斜部の長さっていうのが、青でお示している全長の右側のライン、
0:15:08	登録長さをし、お示しております右側のライン、
0:15:14	ここの間の距離、
0:15:16	だと認識しております。
0:15:19	そうするとこれ場を無視してる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:22	はい。
0:15:26	阿藤選手確度っていうのが 90 を使ってますよね。
0:15:30	これは、その 130 の江田と⑨、
0:15:35	変形みたいになったやつ、これを 90 度に置き換えてるっていうことの理解でいいですか。
0:15:41	はいその通りでございます。
0:15:43	そうすると、96 回というのは鋭角に見るので、これは厳しくなる方向で全然問題ないですよ。
0:15:51	等その熟語性をその登録中里予兆、前兆の間で、
0:15:57	やっていいかどうかっていうのはちょっとあれなんだけどなあ。
0:16:02	MAAP南米パウを無視してもいいと思われました。
0:16:10	中国電力清水です。
0:16:13	衝突解析の結果とかご覧いただきましてもまず、先週の上のデッキの方が先に突き出しているということで、ここが赤いする、していく方が先になりますので、
0:16:26	こちらの方で算出することが妥当かなと思ひましてこのようにしてございます。
0:16:36	今夏
0:16:38	ダイナの結果があるんで、藤間の式っていうのが一つ参考的な扱いになってるので、あまり
0:16:45	何センチがいいかという構成等がいいのかっていうのはあまり議論をしても仕方がないのかなと思ったんですが、
0:16:51	思うんですが、
0:16:53	今言った、この中で 262 ページだったでしたね。
0:17:00	この中で特にその影響度が大きい選手角度、あと選手傾斜長さ、要するに計測結果を使ってる部分については、少なくとも、どういう考えで、
0:17:11	これをどこを取って、どういう考えで、それを採用してるかっていう理由づけはちゃんと入れております。
0:17:22	中国電力志水です。はい。どういった考えで、
0:17:27	取っているかという辺りを追記をいたしたいと思ひます。
0:17:32	はい。すいませんお願いします。どうもあたりの差ってのはそこが一番大きくてですね、それが一番効いちゃってるなっていうことになってるので、
0:17:41	そこを計測結果を使ってるというのが志村の一番の特徴だと思ひますんでね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:46	その辺がやっぱりちょっとわかるようにしておいてください。
0:17:50	それと、264 ページ。
0:17:57	これ荷重指針ですよ。建築の荷重指針で、女川の時もこれと同じような、
0:18:04	ものがあつたんですけど、
0:18:06	これもともと建築の荷重指針だと、これトラックとか、あと普通乗用車対象で、意外と継続時間が短いんですよ。そうすると、こういうふうに、
0:18:18	力積を合わせて、ピークを見てみると大体合ってるよねっていう、
0:18:23	ことが一般的に言われてるんですけど。
0:18:25	この船の場合これ継続が長いんですよ。そうすると力積がナラされちゃう。
0:18:32	そうすると、例えば 266 ページ。
0:18:36	266 ページに対して 265 ページの西大寺見ると、もう極端に下がる。
0:18:44	ですよ。
0:18:45	この辺のところ、継続時間の取り方ってどういうふうに、
0:18:49	考えられてますこれ。
0:18:56	はい。中国電力の伊佐です。こちらはですね、
0:19:00	265 ページの時刻歴、こちらの方で
0:19:04	考えておまして、ちょっとどの位置で荷重を底辺を取るかというところがあるかと思ったんですけども一つ荷重がゼロになるタイミング。
0:19:14	だと思うんですが、そうなると、見ていただく通りで少し、
0:19:20	色波打つ結果、
0:19:22	異なっております、
0:19:23	大分底辺が長くなってしまふなというところでちょっと今回につきましては、
0:19:28	荷重 10kN
0:19:30	これを下回ったタイミングで
0:19:35	ある種加重が終わったという判断判定をしてこの三角形今回作っております。以上です。
0:19:43	10 がいいのか 20 の方ってそんなにすごくあやふやで、むしろ決算なんかで見ればね。
0:19:50	かなり短く、
0:19:51	その継続時間を見てたほうがむしろフィッティングしてくるなとは思ってますけど、黒瀬の資料そのものが、
0:19:59	それほどないかなと私自身も思っていないので、一応今言った通り、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:04	底辺の時間、どういうふうに考えて、そういうふうに設定しました。
0:20:09	で、その底辺の影響というのが衝突荷重に大きく影響力積定点で見れば、大きく影響を与えてくるんで、一つの手法だってことを明確にしといてください。この資料の中で、
0:20:22	はい。中国電力の伊佐です。はい、承知いたしました。こちら三角形考えるときにですね、考え方というところ、
0:20:30	少しどこか資料で明記したいと思います。
0:20:34	以上ですはい。お願いします。あと 315 ページ。
0:20:41	これはちょっと文章の話なんですけど、三行目と 4 行目の部分で、
0:20:48	総トン数 2 トンの船舶については、機関部の衝突が発生しなかったため、
0:20:56	添付資料 6 において、船体破壊進行速くなるFRPの山。
0:21:01	材料特性を、を設定した。
0:21:04	これはあれですか。
0:21:07	この中の資料を見ていくと、
0:21:10	どちらかっていうと、
0:21:12	これは文脈逆でね。
0:21:14	船体破壊の進行が早くなる日の残業、材料特性を設定しても、
0:21:20	何か基幹部の衝突が発生しなかったっていうふうに、
0:21:25	文章そのものは見え、中身はそういうふうに見えるんですが、そこんところちょっと文脈が、
0:21:30	ちょっと妙な感じなんですがいかがですか。
0:21:32	中国電力清水です。少し作文が悪かったのかもしれませんが。こちらの
0:21:39	先端破壊の進行が早くなるFRPの材料特性を設定したという言葉がそのあとの総トン数 19t船舶の衝突解析にかかっておりまして、
0:21:52	その解説を書いていたんですけども、
0:21:57	これ多分私はそうなんだけど、
0:22:00	19tのときに、ショートしなかったんで、
0:22:05	DがB2tに対してもFRPの材料特性も
0:22:11	非線形分を考慮しないでやりましたっていうことを言いたいですよね。
0:22:15	もう一度ちょっとこの文章そのものを、ちょっと見直しいただきますこの分はちょっと読めないっていうかね。
0:22:22	ちょっとお願いします。
0:22:24	中国電力シミズですはい、承知いたしました。
0:22:30	それとあと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:33	319 ページ。
0:22:36	なんですけど、
0:22:38	317 も 19 もそうかな。
0:22:42	これ今、先ほど今ご説明していただいて、施設全体としての、
0:22:50	衝突荷重っていうのが選果中でこう入ってきますというやつなんですけど、
0:22:55	これについては、国の設計とかそういうものに用いますっていう話でしたっけ、今先ほどちょっとご説明ナラましたよね。
0:23:08	はい。中国電力の伊佐です。はい。施設全体に作用する衝突荷重、こちらを、
0:23:14	使いまして国の等の設計とか、
0:23:18	考慮していきたいと考えております。
0:23:20	規制庁の水、これ、例えばこの沓名ミイの会社と協調させなきゃいけないんで、二次元のFEM系か何かで応力解析してくるんですか。
0:23:32	はい。
0:23:34	中国電力の伊佐です。今言われた杭でいけば、我々で言うと排気の多重交換後意識は平均となります。
0:23:43	この国の検討するにおきましては
0:23:46	二次元のFLIPような検討を考えてございます。そうするとその 2 次元の FEMにはこの防波壁モデル化してやって、
0:23:54	奥井方向をすべてモデル化するのかな。それはちょっとよくわからないけど、そこにこの線荷重を入れているっていうイメージですか宣言二次元なんで、
0:24:05	分布荷重って形になるのかもしれないけどそういう応力解析のイメージ。
0:24:09	でよろしいですか。
0:24:12	はい。中国電力の伊佐です。防波壁につきましては基本考え方としては線量構造物になると思っております。ですので二次元FLIP上では横断方法、
0:24:25	モデルとなりまして、
0:24:26	なのでこの国の
0:24:29	オオハシでございますと
0:24:31	目があります。国がこう立てるようなそんな、
0:24:34	人を寄せたっていうようなモデルとなっておりますんで、ちょっとこの奥行き方向を少し、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:41	今ならずといえますか。
0:24:44	そういったことで表現をしてこういった荷重等をかけていくということになると思っております。
0:24:50	で、この場合はあれなんですか。
0:24:53	いわゆる漂流物対策工による荷重分散ってのは考えない。
0:24:59	ですか。
0:25:02	はい。中国電力の伊佐です。はい。
0:25:07	ご説明させていただきました局所的な衝突荷重とかで言えば、
0:25:12	大きく他の分散っていうのが、
0:25:14	あろうかと思えます。今回この施設全体に作用する荷重的にいけますとそういった分散はないと。
0:25:20	思います高さ方向はちょっとあるかもしれないですけども、
0:25:23	なので冨田酒匂。
0:25:27	を考えた荷重、
0:25:29	あまりその2次元で解くときには、
0:25:35	効果がないといえますか、そこまで影響ない状況になるかなと思っております。最終的には別に見なくてもいいんですけど、
0:25:46	この1メートル分の
0:25:48	分布荷重として、二次元のFEMIに入れてやるっていう理解でいいですね。
0:25:56	はい。中国電力、須田です。はい。二次元FLIPで解くとき、入札的に、
0:26:01	どう割り戻すかという話なりますけどもそういった格好になろうかと思えます。
0:26:06	はい、そうするとこの319ページ許可分時ってこれはどういうふうはこの局部評価するんですか。
0:26:14	3次元モデルで局部的に当ててやる、そういうことなんですか。
0:26:21	はい。中国電力の伊佐です。
0:26:25	こちらの図でご説明させていただきますと、目、
0:26:30	結局、
0:26:31	野瀬でいいますと、この1メートルの数がかかるというところで、
0:26:38	特にその局所的な荷重を受けというのが直接直接部材を受け、主荷重を受ける部材である擁壁。
0:26:45	この擁壁の1メートルに対しましてこの擁壁も1メートルで受けるといった、
0:26:50	ことで1次元の評価をしていくと思っております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:55	2次元の朝日規制庁の皆さんに時間を評価しちゃうんですか、対面性単位。
0:27:01	メーターあたりを取り出して、この単位荷重を入れてある。そうすると、
0:27:06	必ずこの317ページの線荷重よりこっちの厳しくなりますよね。
0:27:12	はい。おっしゃられる通りで中国電力の吉見です。3次元のモデルに入れる場合も考えております。で、
0:27:20	保守的にですね、二次元のもので入れる場合には今、磯田が申した通り、例えば1メーターの幅のものについて1メーターの入れる、これ、かなり保守的な評価になると思いますけどもそういったもので、
0:27:32	ものも今、出てくればですねそういったものをちょっと考えてみたいなと思っております。基本的なイメージはその絵に書いてある三次元に、
0:27:40	江藤1メーターに当たるというのも、が、荷重としての考え方としては正しいのかなと思っております。以上です。
0:27:48	規制庁の梅田です。わかりました。ちょっと私思ったのは二次元系でこれ入れちゃうとね。
0:27:55	もう絶対に集中会社の方が厳しいって町局部課長の厳しいなっちゃうので、
0:27:59	そうするとそれで全部設計を選ぶっていう趣旨なのかなとちらっと思ったんですがこれ、
0:28:04	あくまでもローカルな感じなんで3次元的なモデルも考えるっていうことで理解をしました。
0:28:11	この辺のところをまた共同計算書の方で、十分説明をしてください。はい。中国電力の日比です。まず、
0:28:18	計算の前の方針のところ、確実にご説明していきたいと思っております。以上です。はい、わかりました後ね。
0:28:26	317ページこれさっきパワーポイントの資料でも出てるんですけど、出てくるんですけど、これちょっと確認なんですけど、
0:28:34	ここで出てくる、1メーター2メーター3メーター56メーターまでは、線船首からのあたりの値ですよね。で、
0:28:44	これは例えば3メーターで4メーターとか5メーターとかやってくついう時には同じ時刻の最大なる荷重をサムアップしてここに出てるって理解でいいですか。
0:28:58	はい。10億円でございますはい。今、皆さんがおっしゃった通りで、こちら、同じ時刻での

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:06	足し合わせたものの最大荷重となっております。以上です。近藤 7 メーターから以降これ真横衝突の数値ですよね。で、
0:29:14	7 メーターも始めたんでもう 20 メーターでもいいんですけど、その時に与えて、ここに記載されてる荷重はやはり、
0:29:22	ある時刻、その最大になるトータル荷重が最大になる部分を取ってきてその中の一番厳しい 10 メーターの 10 メーター分を取ってくるっていう考え方で、
0:29:33	この荷重を設定されてるって理解でいいですか。はい。中国電力の伊佐です。はい。今おっしゃられた通りの
0:29:42	ご理解で結構でございます。
0:29:44	それをそういうふうやってるっての僕はこれ記載してありますか。
0:29:54	少々お待ちください。
0:30:15	はい。すいません。中国電力の磯です。
0:30:20	197 ページをお願いいたします。
0:30:26	こちらのところでございますまず上のところですね防波壁幅ごとに作用する最大衝突荷重、
0:30:33	を示すというふうな記載をしております。先ほど三浦様から言われた通りですねどういう同時刻性だとか、そういったところと、
0:30:42	詳しい記載をちょっとしていないなど。
0:30:44	いうところでございますので、ちょっとここ、どういう考え方で
0:30:49	このグラフを作っているかっていうのは、追及する必要はさせていただきたいなと思いました。以上です。
0:30:56	規制庁の皆さんこれ私もこれ読んでそっから先私想像さっき言ったんですけど、少しその辺が誰にもわかるように、明確にしといてください。お願いします。
0:31:11	はい。私からは以上です。はい。
0:31:15	規制庁の服部ですすみません先ほどのミウラの確認でちょっと、
0:31:20	もう一度ちょっと念のために確認させてください。
0:31:23	319 ページ。
0:31:26	2、
0:31:30	何だっけ、局長荷重の話が載っていて、先ほど中国電力側の説明では、
0:31:37	その壁のところワー
0:31:40	局所荷重のほうが悪くなるの
0:31:43	局所荷重で評価しますというふうにお聞こえたんですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:49	なので、私がそこで理解したのはとか、
0:31:54	認識したのは、
0:31:56	たとえば、右下の図、
0:32:00	みたいな形で、
0:32:02	壁についてワー
0:32:04	感じれば、要するに片持ちばりで評価して、
0:32:10	1200kNの分担幅を、
0:32:14	2メートルにする。
0:32:16	というふうに先ほど聞こえたんですね。
0:32:20	一方何だろう。
0:32:22	一番上の菅千葉のところつけ根のところは、例えば 45 度分散をさらにすればですね、
0:32:30	さらにちょっと仮儒ん分担幅が広がるような気もするんですけどそういう設計の考え方もあると思うんですけど。
0:32:37	実際には保守的 2、
0:32:40	1200kNを 2 メーターで受ける。
0:32:44	片持ちばりで設計すると言ったんですけど、そこら辺をちょっと確認したかったんですけど、いかがでしょうかどうぞ。
0:32:53	はい。中国電力の伊佐です。すいません先ほど私が申し上げた、
0:32:59	やり方と、少し二次元的な考え方だと思います。
0:33:04	先ほど市長が申し上げた通り、3 次元で考えるやり方、それにつきましてはその防波壁の構造等につきましてはですね、
0:33:12	いろんな適切な解析のやり方をやろうと思っております。
0:33:17	2 次元でもしやるとなった場合につきましては、
0:33:23	例えばこの対策を向ける場合につきますと、いきますと、2 メーターで受けるような、
0:33:29	考え方で評価をするというふうに考えております。以上です。
0:33:34	規制庁のハツリですはい。結構保守的なやり方をやるんだなということで理解をしました。私からは以上ですが、他にあればお願いしますどうぞ。
0:33:50	矢崎ですけども今言ってる話で 317 ページで同様の話ではあるんですが、
0:33:58	この高さ方向 1 メーターってしてるじゃないですかその根拠として、上のところで、
0:34:03	文書で下から 2、2 行目ぐらいのところから、いわゆる、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:07	登録数の 1.85 メーター。
0:34:10	を下回るように 1 メーター2、保守的に丸めたという話になっているんですけども、実態として
0:34:18	衝突解析、
0:34:19	これらの荷重が出てきたときのトーク比較はしてますかっていうのを、
0:34:27	聞きたかったんですけど、
0:34:28	はい、中国電力の磯田です。
0:34:31	少々お待ちください。
0:34:49	はい。すみません 145 ページをお願いいたします。
0:35:02	衛藤。
0:35:03	こちら先週報告衝突状況というところでございまして、
0:35:08	146 ページにその荷重の時刻歴を記載しております。こちらでいきますと、核兵器 12 がショートした際の荷重ということで 3078kN、一番大きな荷重が出ているという状況になっております。
0:35:23	こちらで先ほどのすみません 145 ページに戻りますと、この 12 というところで、全体に応じて
0:35:30	ガツンと当たっているような状況が見えております。ここ隔壁 12 というところの寸法でいきますと大体、
0:35:37	3 メーターぐらいの
0:35:41	証言となっております。
0:35:42	また同じように真横衝突の方も、
0:35:46	少し見ていただけたらと思いますが、
0:35:50	江藤。
0:35:52	157 ページになります。
0:35:56	257 ページにつきましては
0:36:00	0.03 秒と 0.07 秒、ここに大体非常に大きな値が出ていると、7000、
0:36:07	400 とか、そういった荷重が出ております。ここにいただきますと、
0:36:11	大体、
0:36:13	その線船の側壁が当たった状況ということで大体こちらが、
0:36:18	ツツミ 2 メーターかそれぐらいの、
0:36:21	1 人 2 メーター、②の方で、先ほどのような 3 メーターぐらいの
0:36:25	面で当たっているというところがございます。
0:36:28	はい。
0:36:30	はい。以上であります。規制庁の江崎です。できればですね、その辺も、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:36	先ほどのところで考察的に加えてもらおうと、説明の信頼性が上がると思うので、
0:36:42	追加してください。
0:36:46	はい。中国電力の吉住です。了解いたしました。ちなみに 132 ページに、先ほどの各駅 0102 の面積を記載しております。
0:36:58	232 ページの 14 の 5-6-7 というところで、
0:37:04	隔壁 1 と 2 がそれぞれ値 3.7 平米ということで、これが同時にぶつかっているところがございます。これの掛け 2 倍ぐらいの面積で、
0:37:14	当たっているところがございますので、その辺りもちょっと使いながら、
0:37:19	考察のほうをちょっと入れさせていただきたいと思います。以上です。矢崎です。よろしくお願ひします。あとですね、今日あんまり説明がなかった以前説明があったところで、
0:37:30	ちょっと振り返りでちょっと確認取りたいんですが。はい。この、
0:37:34	81 ページですね、④の資料の 81 ページ。
0:37:39	開いていただいて、
0:37:40	その④のその他、
0:37:42	作業線っていうところで、
0:37:46	この文章がですね、例えば
0:37:50	一行名あたりは日本海島縁部に想定させられる地震による津波に対してはっていう主語で始まっていて、3 行目。
0:37:59	ぐらいの前段で、
0:38:02	海域活断層に想定されるって話で話変わってるいるんですよね。何が言いたいかっていうと、
0:38:09	海域活断層の前のセンテンス見ると、緊急退避の実効性を確認するが、
0:38:16	海域活断層に想定されるって、きっと多分文章がどっか消えちゃってますよね、いわゆる緊急退避できますっていうのは前の方で、同じような文章を使ってんだけど、
0:38:27	その緊急体制できますという結論のところは消えちゃってるんで、
0:38:30	文書として尻切れトンボみたいな状態になってて、おかしい文章になってるんでここを訂正してくださいってのが一つ。
0:38:38	それとですね同じ
0:38:42	段落の中でですね最後の方で、
0:38:44	いわゆる POS、その他作業線が、遂行に到達しない可能性、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:50	到達することはないと判断した材料が、押し波後はすぐに引き波に転じるから、
0:38:57	という理由なんですよ。ここちょっと違和感があってなぜかっていうとなぜ違和感があるかっていうと、
0:39:04	それぞれ以外の船舶って、
0:39:08	ヨセンでもうあれでも基本的に言うと、
0:39:12	取水口の、
0:39:14	よりも開明、近くに浮いてるから、塞ぐことがないっていうことが一つと、あとそういう後、
0:39:21	沈没するような事象が起きて、例えば、包丁でとかにぶつかってしたとしても、
0:39:29	す。全体として、
0:39:32	何だっけ、致酔性と取水口を塞ぐほどね、
0:39:36	取水性を損なうほどを塞ぐことはない面積的につて話を全部
0:39:43	統一して話を作ってますよね。
0:39:45	なんで、なんか、なぜそ、同じような理由にしなかったのかなと。基本的には港湾外にあるという話はあるけど、そもそも沖合防波堤だって、
0:39:55	基準津波の選定のときは、沈下してしまうかもしれないとかそういうない状態もしてるわけだから、どちらかというと同じロジックの方が、
0:40:07	何となく説得性が高いなと思うんですが、いかがでしょうか。この辺っていろんなことをやっていて、その作業せんてみんなもう目に入らなくて皆19tに目が行っちゃってた許可時の会合になっていたのだからこれはちょっともしかしたら我々の方も、
0:40:22	見過ごしていたのかなと思うんですがいかがでしょうか。
0:40:29	中国電力のケンツメです。ご指摘の通り少しわかりにくい記載となっておりますので訂正して、追加したいと思います。以上です。よろしくお願いいたします。
0:40:55	規制庁のインダです。
0:41:00	はじめにですね、ちょっと
0:41:04	前提条件になるところを確認させていただきたいんですけど、122ページの、このフローですね。
0:41:14	このフローで、フィーの、
0:41:18	ところを今参考っていうふうに、ここでは設定されているんですが、
0:41:26	所、ここはもう解析を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:31	元前提で考えるというフローなんですか。解析で出てきた結果に対して参考までに、FEMAで出てきた値っていうものも見ながら、結論としては開析度値を使う。
0:41:45	というそういうものの考え方なんですか。
0:41:51	はい。中国電力のSIはい。ご理解の通りでございます。
0:41:55	我々こちらフローで
0:41:58	不確かさがこれができる衝突解析、こちらは
0:42:01	制度しているというところと、あと今回の結果を踏まえまして衝突解析というところを、
0:42:08	ベースで考えていきたいと思っております。
0:42:12	その根拠というか背景なってるものなんですけれどもね。
0:42:18	解析の値が、フィーで出してくるものよりも十分に保守的な値が出ていますっていうようなことが、いろいろ書かれているんですけども、
0:42:29	そういうようなこともあって解析の方の値を主体で考えたいという考え。
0:42:35	ことでしょうか。はい。
0:42:37	はい。中国電力の吉住でございます。まずそれが一つとですね。
0:42:42	あとFEMA式で先週の結果自体は、先行先行サイト実績もあって、使えるものだと思ってるんですけども今回の横尾。
0:42:52	藤の解析をするとかなり大きな荷重が、全体荷重としてかなり大きなものが出ておりますので、そういったものをまずはベースとして、先週でぶつかるFEMAの荷重と比較をして、
0:43:06	それでも、設計を荷重として、設定するというような、今流れとしてこのフローの方は作成をさしていただいて、
0:43:15	参考といたしましたのは、
0:43:17	そういった真横等のところの部分までではなくて選手のみというところでは、もちろん使えるとは思っているんですけども、そういったところで、ちょっと※3のところの、
0:43:28	ところを一応参考というふうにさしていただいております。
0:43:33	はい。今のお話を踏まえてなんですけれども、
0:43:37	さっき
0:43:39	藤。
0:43:40	三浦さんの方がちょっと指摘していて、私も全く同じことをちょっと重複しますけれども、とですね 200、262 ページのところ、FEMAシキイを計算するに際しての、
0:43:56	あれですね、軸剛性の計算値が出てきてその計算の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:01	計算式の内訳というかですねそれが出ています。
0:44:06	それで、
0:44:10	下の軸剛性値ってのは、感覚的にはまず私非常に小さいなんて1桁違うなと思って見ていて、どうしてなんだろうなと思って、ずっと
0:44:21	内訳の数字を拾っていったら、先週消せ傾斜部の長さとかですね、それから圧縮荷重はこれはもう機械的に出てきちゃうのかなとかどっか思いながらも見てたんですけども、
0:44:33	船首系さ傾斜部の長さに関しては、
0:44:40	ちょっと私、
0:44:42	これあや少ないですか。
0:44:44	思ってるんですけども。
0:44:47	とですね、なので、
0:44:51	少しここは再度皆おしいを、
0:44:55	見直しというか、もう1回当たっていただくことはできないでしょうか。
0:45:00	ですねえ。
0:45:03	軸剛性の話は、あんまり知見というか、数字はないんですけども、
0:45:12	例えばですね、木材立木なんかでもですね、
0:45:21	10-6 乗だ、なんですよ。
0:45:26	構成の船舶なんかになると10-7 乗とかそれぐらいですよ。
0:45:31	それこれ10-5 乗ぐらいじゃないですか。
0:45:35	今回のものってこのFRPってのは、オーダー感でいって、果たしてそんなに。
0:45:41	やわなのかなって感じがしています。それから、
0:45:45	我々いろいろと実験我々もやりますけれども、フィー宇和FEMAで
0:45:54	計算をすると。
0:45:56	かなり、
0:45:57	こんなに保守的なものっていうぐらい、おっきな値が実は出てくるんですね。それで、それ、そういうものと、
0:46:07	見比べてもですね、今回ここで計算されてる値ってのが非常に、
0:46:12	ちょっと小さい。
0:46:14	印象があってですね。
0:46:17	これあれですよ 2012 年だから、
0:46:22	安全係数の1.3 というのも、この数字にかかっているんですよ。
0:46:26	だとするとですね。はい。
0:46:30	少しここは

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:32	へー。
0:46:34	疑いを持って見えています。なので、
0:46:37	それで最初のフローのところに戻るんですけども、仮に、このFEMAのところの値っていうのが、いろいろ見直すと、こういう数字じゃなくて、
0:46:48	もっと大きい値出てきますよっていうような話が出てきたときに、このフローそのものって、
0:46:54	お考えが変わります。
0:47:01	はい。中国電力のヨシツグでございます。基本的にはやはり、先週からの荷重だけだと思っておりますので、基本的には先ほど言いましたような
0:47:13	衝突の不確かさ、
0:47:15	のところも踏まえて、最終的な荷重というものを設定いたしますので、
0:47:21	使い方としては、このような格好の使い方として、FEMAを見るのかなというふうには思っております。
0:47:28	以上です。イシダですけども。
0:47:31	千種ケース中部っていうふうに限定した、
0:47:35	計算なのでっていうふうなお話なんですけれども、その選手経営者選手からの衝突っていう話を決めているのは、この計算の条件の中の形、船首傾斜部の長さってここだけですよね。
0:47:50	これが他の部位だと、この長さがおそらく変わってくるっていうような話なのかなと思うわけなんです。
0:47:57	なので、
0:47:58	例えば、例えば真横だったらね、
0:48:03	どれぐらいなのかって、ある程度類推できるんじゃないのかなっていう気はしたりはしますけれども、わかりましたそこは。
0:48:11	塗布
0:48:13	FEMAのここの計算に関し、
0:48:16	では、ちょっとそういう意味で、
0:48:19	見直しをお願いしたいなと思っておりますということとそれから、
0:48:23	FEMAで出てきた値をですね 6 メーターの幅で考えると言っている、この根拠は、
0:48:33	何なんですか。どこ行っちゃったかな。
0:48:41	幅 6 メーターの加重 2、この値を、
0:48:47	割りつけているっていう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:51	中国電力の伊佐です。江藤。今、正田の 203 ページになろうかと思いま す。
0:49:00	と、
0:49:01	今回ですね衝突解析で獲られた選手のご返済幅は
0:49:07	6 メーターというところで今回そのFEMAというのは選手の軸剛性を用 いて出したというところで、今から出てきてる荷重というのは、船首方向 からの荷重というふうに考えております。
0:49:18	で、ちょっと衝突解析と同じような、
0:49:24	比較して、するためにですねこのFEMAについてはその選手方向の衝 突というところで、その衝突改正と同じ 6 メーターというところで、
0:49:32	考えて
0:49:34	比較、
0:49:36	資格者というところになります。わかりました。それで、
0:49:42	その時に、
0:49:43	この
0:49:46	船の形状ですね、それを考えたときに 6 メーターっていうのが、
0:49:50	果たして適切な設定なのかどうかっていうのはちょっと考えていただき たいなと思ってます。私の感覚では、鳥羽部でしたっけ、先端のところ がありますね。
0:50:02	あそこがおそらく、
0:50:04	1000、先週衝突したときには、あそこが一番硬くて、で、
0:50:11	ずっと、
0:50:12	選手のところの上の部分っていうのは、あそこは、いや、いやなものでくしゃ くしゃって言っちゃうんだと思うんですけど、バーのところはおそらく剛性 が高いところなんでないかというふうに思っています。
0:50:27	なのでちょっとそこ、今 6 メーターというふうですね。
0:50:30	ことで設定をされていらっしゃるんですけども、そこも適切かどうか っていうのはご検討いただけないでしょうか。
0:50:42	はい。中国電力の伊佐です。はい。衛藤先ほどの
0:50:47	145 ページ 146 ページを見ていただけたらと思います。
0:50:56	すいません。
0:50:58	はい。100、あと 146 ページを見ていただけたらと思います。
0:51:05	我々もですねこのバウというところが
0:51:08	まず、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:10	突起部になってるところで荷重が比較、大きく出るんじゃないかというふうに考えていたんですけども、
0:51:16	146 ページでいきますと0. 一井。
0:51:22	二、三秒といいますか、それに少し、
0:51:24	山が小さい山があろうかと思えますこれがそのバグに当たったときの会場となっております。
0:51:31	実際はですねやっぱり
0:51:34	年齢、当たるときの一番大きな荷重が出ているというところでCAQ平均値の荷重となっております。
0:51:44	中国電力ヨシツグです。少し補足をさせていただきます。
0:51:49	場を与えるときには、先ほど言いましたように、6 メーターではなくてですねバウの幅で当たっていると思います。そうしたときには、
0:51:57	やはり1 メーター
0:52:00	よりちょっと大きいぐらいだと思うんですけどもその荷重と見比べるべきだと思いますので、それはちょっと分析をして、こちらの絵に落とすとき先ほどの、
0:52:10	203 ページの絵に落とすときには、
0:52:13	全体で当たるとときと、バウで当たっている
0:52:18	1000、1000kNぐらいですか。
0:52:21	のものをちょっと入れて少し考察は追求をさせていただきたいなと思います。以上です。
0:52:27	インダですよろしくお願いいたします。
0:52:30	はい。あと、ちょっと違う話になります。278 ページ。
0:52:36	のところで、冬季間ブーの衝突荷重算定のところで、FEMAで、期間ブーのですね、荷重を計算していただいているんですけども、
0:52:48	このとき質量を 400 キロにされている根拠って、
0:52:57	説明いただけないでしょうか。
0:53:03	4トンですねすいませんすいません。
0:53:07	はい。中国電力の伊佐です。こちらにつきましては今回島根の方は、少しご説明させていただいておりますが、実際に船の方、
0:53:18	確認してですね、やっております。その時この船に乗っているエンジンというところも確認をして、
0:53:25	この型式等から4トンというところで設定をしております。以上です。石田です。時間分の重量が4tというのはわかっているんですけど、この期間分っていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:39	全く固定されていない状態で平尾期になってるんでしょうか。
0:53:47	はい。中国電力の宗です。
0:53:50	はい。こちらエンジンつきましては、秋山につきましては
0:53:55	やっぱり
0:53:56	きちんと固定されてる状況で置かれておりますその固定されてる状態で、期間分の重量だけを、
0:54:06	考慮すればいいとする。
0:54:08	理由が私にはよくわからなかったんですが、
0:54:17	すいません中国電力ヨシダちよっとご質問の趣旨も、もう一度教えていただき申しわけない。わからなかったですかね。
0:54:25	期間分のところは 4tの重量物であることはわかりました。なんだけれども、それは、船全体と一体構造の中に、
0:54:37	19tの前、一体構造のものの中に、
0:54:41	4tのかたい物が乗っかってるわけですよ。そのかたい物が、あるところに 5 人とぶつかりましたといったときに、生じる。
0:54:51	荷重なんだけれども、そのときには、荷重荷重として考慮する際の重量は、その 4tだけでいいんですかね。
0:55:02	くっついてますよねって話で、全体荷重で考える必要はないこれこの場合は、その必要はないんですけどという、
0:55:09	ご質問なんですけど質問させていただいたつもりなんですけど、すみません、ようやく理解いたしました。
0:55:15	衛藤おっしゃられる通り、今回、
0:55:20	エンジン
0:55:22	部分、期間
0:55:23	分についての荷重を出しまして、で、
0:55:26	衛藤。
0:55:29	エンジンの大きさがあまり大きく、1 メーターとか 2 メーターぐらいの大きさですので、はい。まず 5 兵器 1 メーターで解析上出ている衝突荷重の最大のもの足し合わせたものを今、
0:55:43	ここの資料上は記載をさせていただいております。これが
0:55:54	289 ページちよっと数字は、
0:55:56	異なる、間違っていたので訂正させていただきましたけれども、
0:56:01	江藤期間分 380。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:04	9kNが1メートルの壁にぶつかったと考えて、船体の衝突荷重、今28と書いてありますがこれが56kNでございますので、合計445kNということで、
0:56:17	出しております。で、
0:56:19	と比較しているのも、1メートル。
0:56:22	出野最大の荷重のところを、船全体での荷重というものをやっておりますんで、
0:56:29	そちらを選びましたのは、全体的な
0:56:33	当機関部の衝突荷重自体も、179ページに、
0:56:43	198kNという、大体沿い、それぐらい200kNぐらい全体でかかっているものの、
0:56:52	ものに389ニュートン
0:56:55	のものを足した場合でも全体的な、
0:56:58	荷重の中にも収まっているのかなということで1メートルで局所的にエンジンが当たったということ、少しここでは、保守的に考えて、
0:57:07	整理の整理をしております。以上です。
0:57:12	ありがとうございます。ちょっと、
0:57:16	私の
0:57:17	理解があれだったので、もう少し考えています。ありがとうございます。
0:57:21	すいません最後に、
0:57:22	ちょっと一つだけ教えてください。316ページのところで、
0:57:31	より物のあれですけども、このところとですね。
0:57:37	この対策ここなんですけど、この対策工程、設備区分は、
0:57:45	これ自体は津波防護施設なのか、とせ影響緩和施設なのかどう、どういうふうな、
0:57:52	設備区分で考えておられるんでしょうか。
0:58:08	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:58:11	今おっしゃられたところは我々も少し今再整理をしているところでございますので、要求機能、
0:58:20	は、衛藤。
0:58:23	要求機能としては、あくまでも荷重分散をして、漂流物対策失礼いたしました。
0:58:30	津波防護施設が弾性領域に収まるように、
0:58:33	するための部位ですということで、先ほども三浦さんが少しありましたけれども

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:39	塑性領域まで踏み込んだもので許容限界は考えてもいいかなという整理はしております。ただ、
0:58:45	江藤そういった荷重分担させるものでございますので、実際的にどういった構造で、どういった要求機能を持って、それは、
0:58:55	施設上の位置付けとしてですね、どういったものがあって今ももう少し今、再整理をしているところでございます。で、
0:59:04	考え方としては、設置許可では、津波防護施設の一部ではあるんですけども要求機能が少し違うものだという整理を当初させていただいたんですけども、
0:59:15	要求機能に従えば、津波防護施設ではなくて、影響軽減施設とか、
0:59:21	漂流衝突の影響防止措置だと、というようなガイドにもありますので、ちょっと今、再度整理をしているところでございます。
1:00:00	ありがとうございます。私からは以上です。
1:00:12	エザキですけどちょっとこれは、
1:00:16	確認しておいてもらいたいんですが、いわゆるね、さっき言ってた 278 ページ、279 ページも関連した話なんだけど、
1:00:27	午前中あったようにね、いわゆる土木学会で実験しましたと。
1:00:33	そうした時にこういうような衝突荷重の時刻歴って、フタコブラクダになっていて、
1:00:39	そうした時にフタコブラクダに当たるようなところは、基本的には、
1:00:44	その荷重としてはね、
1:00:47	エネルギーを一番、
1:00:49	発散するところで、モデル化してるから、安全側になってはいるんだけど、
1:00:54	仮にこの期間分。
1:00:56	で考えたときに、の衝突を考えたときの、
1:00:59	なったときに、この期間今ほとんどもうゼロに近いところなんでね一発で
1:01:06	エネルギー発散しちゃってるからさ、だから、
1:01:09	実際の、
1:01:11	どう書かみたい実態を考えたときに、
1:01:15	うん。その評価で本当にいいのかどうか。
1:01:19	これって、船首衝突じゃなくて、横衝突じゃない。だから、はっきり言うと、我々にもわからないんです。
1:01:27	そこの成否っていうのは、なので、これちょっと、
1:01:31	ちょっとかもう少し、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:32	検討していただけますか。そんな計算しろとかいうんじゃないくて、
1:01:36	そういった事象があり得るのかどうかってちょっとわからないんでだから、うん。
1:01:41	その横衝突とかそういったときに、
1:01:44	そこの期間分に到達したならばという状態ではあるんだけど、
1:01:49	ちょっとそこが引っかかるんだよね。うん。もう到達しないという前提で話は進んではいるんだけど、
1:01:56	到達したならばという考えたときに、
1:01:59	今の押そうモデルカーでも問題ないんですよっていうのはちょっと説明をいただく必要があるかなと思っていますんで、ちょっと難しい話かもしれないんですけど、
1:02:10	それはちょっと専門家の、
1:02:11	意見も、
1:02:13	を収集しながら、ちょっとご検討ください。
1:02:17	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:02:21	ちょっとモデル化のところで、どうしても隔壁が多い、あの世真横の方が剛性が高いというふうに思っておりますので、そのあたりと今の考え方と、
1:02:32	あと、実験等による結果の、
1:02:36	ところも踏まえてですね。
1:02:38	ちょっと考察して、
1:02:40	もう少し真横衝突による機関部への衝突のモデル化として、少し妥当性の検討をさせていただきたいと思います。以上です。
1:03:29	規制庁のタダウチですちょっと今までの話に関連するような話になってくるんだと思っているんですけども。
1:03:38	先週の衝突に対して、6の1メートル幅のやつぶつけてるんですけども、
1:03:48	結果としてね、例えば、149ページみたいな形で、
1:03:55	出てくるっちゃう話にはなってはくるんですけども、
1:04:00	例えばですよこれを、
1:04:04	5枚とか生井とか木須伴、奇数米にしてね。
1:04:08	ど真ん中に1メートルが来たなんて話になったらこれ、
1:04:13	集中荷重上がるんですか。
1:04:18	伊達丹1メートルあたりのやつはこういうもので評価してんだけど、
1:04:22	畠瑠羽

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:27	枚数をどこに配置するかによって、
1:04:30	何か変わってきませんかねというところがあるんですけどもいかがでしょう。
1:04:35	はい。中国電力のヨシツグでございます。ご質問の趣旨は理解いたしました。
1:04:42	最大荷重が出てる時は、
1:04:45	先ほど言いました隔壁の一番 2 番という、
1:04:51	かなり大きな面積のところではぶつかっております 145 ページで言うところの、
1:04:57	それぞれ数 5、0.37 秒という時でございます。
1:05:03	衛藤。
1:05:04	ですので、大体 3 メーターが 4 メーターぐらいでぶつかっている中での、
1:05:10	2 枚に荷重が集中しているというものでございますので、
1:05:14	仮にずらしたとしてもその衝突
1:05:17	荷重の一番大きなところでの 1 メーターあたりの荷重というものは変わらないのかなというふうに考えております。以上です。規制庁タダウチです単純なね。
1:05:28	これすね小学校レベルの丹を遊びを例えばやらせたとしますよこの例えば台形のところを、透析の三角形に置き換えましたつつたらPEEK建てな値が全然変わってくるんじゃないかなと思うんですよね。
1:05:43	だってそういうことですよ。
1:05:45	面積、おなじにして形状を変えればいいだけの、すごく単純な話だと思ってるんですけど。
1:05:52	そういったところの話についてはどうなんですかね。
1:06:01	そうそうそうそう。だからあんまりこういうふうに分けて、それでチャンピオンデータを取りましたって話になると、その各駅の取り方によってチャンピオンデータが何か動いたりしませんかねっていうそういう話なんですよ。だ。
1:06:13	そういった意味では評価をするにあたって核兵器の値段面積相当の長さで評価するとか何とかしないと、
1:06:20	何かおかしい話になってきませんかというそこだけの話だと思ってるんですけどいかがでしょうか。
1:06:27	はい。中国電力ヨシツグでございます。おっしゃる趣旨は理解いたしました。
1:06:34	おそらく全体的な荷重、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:37	として見るときには、今おっしゃられたような、
1:06:41	ことで、
1:06:43	いけるのかなと思って、
1:06:46	今回、局所的な荷重というので1メーターを設けましたのは、
1:06:52	そういった全体的に落ちてる荷重の、先ほど
1:06:58	ありました通りバグで当たるときに例えば、局所的に本当に1メーターであってるような時の荷重というのもあるのかなということで今回、そういったものも見逃さないように設定すべきかなということで、今あるこのデータでちょっと整理をいたしました。で、
1:07:12	おっしゃる趣旨理解いたしましてちょっと考え方も少し整理して、
1:07:16	ご説明はしたいと思います。以上です。はい、規制庁タダウチまあまあがうの話もあって幅を1メーターで取るって考え方についてはそれそういった根拠があってね、この幅を取るって話はわかったんですけどじゃ、
1:07:30	それをどういふふうに評価に用いるかっていうところについては、中国電力の今のやり方を見ていると、とりあえず出た解析のチャンピオンデータだけを拾ってるって形になっちゃうと、
1:07:43	ハイチに配置損が出てきちゃうので、これをどうするかっていうところについては、ちょっと考察をして、見ていただけないですかっていうのが一つです。
1:07:51	それともう一つなんですけど、さっき左右の対称性の話でいくとその前の147ページと、
1:07:58	148ページを見て5劇番号の1と6を見ると、ピークが立ってるところが全然違う。
1:08:07	話が出てきちゃってるんですね。そうするとこれはオフセットしてんのか傾いちゃってるのかよくわからないんですけども、
1:08:15	これは何か考察あるんですか。
1:08:23	はい。中国へ連絡されつつ、ちょっとこちらにつきまして先ほど、
1:08:27	コメントいただきました通りですねちょっと我々もすいませんちょっと今回答できる。
1:08:32	ところが著持ち合わせていないところがちょっと本音の正直なところでございますちょっとこちら持ち帰ってですね、
1:08:40	考察してまたご説明させていただけたらと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:44	はい。何かこれをもってして、何かやれって話じゃなくって出てるシミュレーション結果について説明ができるっていうことをちゃんとやっていただきたいと思います。それと、
1:08:58	もう一つなんですけれども、
1:09:03	例えば 157 ページであるんですけどね。
1:09:10	横カラーショートと真横衝突なんていうのがあるんですけども、
1:09:17	ちなみに真横で衝突する時に機種軸にローリングしてるような角度とかってというのは考えてはいないんですが、要は全体が傾いた状態で横向きに当たるとかね。
1:09:30	そんな話を究極の言い出すと何を言いたいかっていうと、
1:09:34	留コツが直接当たるような話になりませんか。いう事に当たると何が起きるかっていうとエンジンが直接マウントされているはずなんですよ。
1:09:44	一番剛なところが、
1:09:46	当たるような話ってというのが生ずるのか生じないのか。
1:09:50	これは、正直そこまで全体傾かないんですよとかいう話があれば教えてもらいたいんですけどもただ津波がね、来て、コントロールきかない状態になっているところで、どこまでどう議論するのかってのがかなり難しいんですが、
1:10:05	そこら辺の話ってというのはどうなんですかね。
1:10:15	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:10:19	船の構造上、やはり
1:10:22	かなりシャープに、下の方が止まっていますので、基本的にはそんなに傾けて、ものはないというのが、この構造上のお話だと思っております。
1:10:34	あとは、
1:10:37	確かにエンジン部分の方のちょっと傾きってというのが、どこまで影響があるかっていうのは、ちょっともう少し検討させていただきたいと思うんですけども、基本的には、傾いたことによって 2 段衝突のような形に、
1:10:52	傾向として出てくるというのが大体わかっておりますので、
1:10:55	全体的な荷重としては分散されるのではないかなというふうに思っております。以上です。
1:11:01	はい規制庁タダウチです。おっしゃってることはよくわかるんですけどもじゃ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:06	ということだったんだよねの話については、船が単独で漂流して流れてくるっていう前提なのかなっていう気がするんですけど、何かと一緒に流れてくるって話は考えなくて大丈夫ですか。
1:11:20	それ言うと、どんな状態でも考えられちゃうからって話になりかねないんですけどもね。
1:11:29	はい。中国電力のヨシツグでございます。今ん流れるものを前提として漂流物としては船舶、
1:11:38	を対象としておりますので、それを限定して、今、説明をさしていただいておりますので、その辺りは、
1:11:47	また改めてご説明はさせていただきたいと思います。以上です。はい、わかりました。
1:11:52	それをちょっといろいろと頭思い浮かべながら 318 ページとか、317 ページとかって話にちょっとなってくるんですけども、
1:12:03	漂流物の衝突荷重としてね何を見なきゃいけないのかっていうのは先ほどちょっと議論もあったんですけども、要は膨張して自体の堤体の躯体構造自体がね、その損傷するような話をね、
1:12:18	考えて、思い切りその荷重が全体的にかかったときに、例えば高性能大物が折れ曲がったりしないかみたいなハットリからもあったんですけどそういうものを考えなきゃいけないって話が一つと。
1:12:31	あとせっかく設けた防護工とかそういったものに対して、局所的に壊れるかどうかってところを、その 2 点に着目してやってるっていうまずその前提条件は間違いないですか。
1:12:45	はい、中国電力のヨシツグでございます。
1:12:47	基本的には今漂流物対策を設置することを肝にしておりますので、
1:12:53	局所的に当たるのに影響が大きいっていうのは対策工だと思っておりますので、
1:12:58	そのあと対策工から分散されたものとして、壁にぶつかるものときには、かなり荷重としては、小さくなってると思ってますので、一番影響大きいのは対策工だと思っております。以上です。
1:13:11	はい。そうすると後半部分についてはわかったんだけど、前半部分については余裕があるからいいやってそういう話になっちゃうの。
1:13:22	全体的にかかる荷重としては、やはり、
1:13:28	例えば杭みたいなものでありますと、杭の根も頭に全体的な荷重で押す方が厳しいんじゃないかというようなことも考えましてこういった二つの荷重のほうを設定しております。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:40	はい、規制庁のタダウチでそそういうそういう意味では
1:13:45	傍聴でもあるスパン区切ってやっているんですよね。
1:13:50	その区間に対して、
1:13:53	例えば十分持ちますよって話はどっかで言ってるんですけどそれとも論として。
1:13:58	衝突荷重がこんなもん 19。
1:14:01	んどんぐらいのやつがあったとしても平気だよみたいな話でどっかでやってんだっけ。
1:14:06	藤。
1:14:07	中国電力にですね、設置許可段階での、
1:14:12	話でしょうか。
1:14:14	そん時評価してるって話になってるのかな。その時は、中国電力のヨシツグでございます。その時はまだ
1:14:24	FEMA式での先行サイト実績がなかったということと、衝突解析につきましても文献がなかったということで、同居示方書による荷重として、19度の船舶を見たもので評価をして、
1:14:38	ある程度構造的、裕度としても十分あるということをご説明をさせていただいております。以上です。
1:14:44	そうすと現状においてはそれが変わるようなことはない、ある土地。
1:14:51	はい。中国電力のヨシツグでございます。今回の対策を実施することによって、防波壁そのものによる評価が変わるとは思っていないと思っております。以上です。
1:15:03	はい、わかりました。そうすると、
1:15:05	へえ。
1:15:07	あとは対策工だけの話に帰着するって話になると、要は
1:15:14	局所的に当たるものとして今 1 メーター掛ける 1 メーターってところの評価領域を考えて、ここに集中荷重が働くって話で、ここに最大どのくらいのものがかかるんだろうって話について
1:15:28	どうやって船が当たったら、一番保守的に当てて荷重がかかるんだろうって話を紐解いていくって話になろうかと思うんですけどもそういった点において、
1:15:39	さっきのね、エンジンマウントされてる個数が当たるようなことないですよって話があるのがないのがあるんであれば評価しなきゃいけないんであれば、どれが最大になるのかってところの評価ってのが当然しかるべきだと思っはいるんでそういったところの、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:54	評価っていうのをちゃんとやっていただきたいと思ってるんで、はい。よろしくお願いや見込みだから僕はいろんなところを当てて試してみるって話じゃなくて、
1:16:02	構造上どういうようなところが一番当たったら、最大になりそうだっていうところはある程度予見ができるんじゃないかなって気はしているんですよ。そこが、例えば、
1:16:15	どう考えてもわからないよっていうんであれば排除していけばいいし、そういったところの前段部分がないと何か、とりあえず横当てました証明が出ました後が出ました、崩れていきますみたいな話をしたせるって、
1:16:27	とりあえず大丈夫そうだっただけでもちょっと、
1:16:30	少しずらしたらどうなのとか、そんな話がすぐ出てきちゃうんだと思っ ているんで、
1:16:35	そういったところは要は、分析、
1:16:39	いわゆる解析やる前段として条件としてどう設定するかは中国電力の 設定の仕様をどういうふうに設定するかしないかは自由だと思うんで、 ただ、
1:16:51	ちゃんと合理的な説明がちゃんとできてこれ以上のものはありえないっ ていうところをちゃんと評価していただきたいと思うんですけど、いかが でしょうか。
1:17:06	はい。中国電力のヨシツグでございます。139 ページ 1 か。失礼いたし ました 138 ページ以降土木学会等で、
1:17:15	どういった衝突形態が考えられるかというような、船のぶつかる方向と いうのを見て、
1:17:23	整理されているものがございます。
1:17:26	はい。で、今おっしゃったのはこれの中でもさらに
1:17:30	当社としてですね、
1:17:33	先ほど流ポツがぶつかるような事情が本当にあるのかないのかという のも含めて、
1:17:37	野瀬再度整理してここ宇野あたりのところを充実させてですね、ご説明 の方さしていただきたいと思っております。以上です。
1:17:44	はい。よろしくお願います。あくまでも土木学会の衝突ケースって多 分、最低限考えてくださいの話だと思っ るんですよ。それプラス、
1:17:54	事業者としてね、こういうことも考慮しないとどうなんだろうっていうところ はちゃんとやっていただいた方がいいと思っ るんですけどもね。はい。 そういったところだと思っ ますんでよろしくお願います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:08	はい。中国電力ヨシツグです。了解いたしました。
1:18:24	伊勢チギラです。すいません。私、1点だけちょっと確認させてください。
1:18:29	④の資料の93ページで、ちょっと午前中説明があったかもしれないんですけど、一応念のため確認させてください。この、
1:18:39	表の4-5-1-1で今回見直してきたところで防波壁通路防波扉。
1:18:46	これ日本海等については
1:18:50	協力対策、設置することから
1:18:54	加地は、衝突荷重は考慮しないってことでなっているんですけど、
1:19:00	ここのちゆ、下の注記のところ、
1:19:04	今言ったところで、
1:19:08	福岡れるとですねやっぱりちょっと気になるのが
1:19:12	101の資料の12ページで、前回6月24日のヒアリングのところで106番、
1:19:21	高齢、防波扉のところの
1:19:26	距離物対策工、
1:19:28	なんですけどだから今年を踏まえた設備上の位置付けとか、部材の許容限界について、今後日回答ってなっているんですけど、
1:19:41	この回答準備の状況とかですねちょっとそのあたり、今どんな状況かっていうのを、
1:19:47	ちょっと、
1:19:48	説明いただけますか。
1:19:54	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:19:58	衛藤。
1:19:59	6月24日にお示した、概要のものがあると思うんですけども、今あれで詳細設計を進めているところでございます。基本的には、
1:20:10	衛藤、
1:20:13	あそこでご説明した鋼材で、
1:20:19	扉の前に、
1:20:21	付けるという構造で今、設計を進めております。
1:20:27	こちらの今の状況なんですけれども、
1:20:30	今久我通待つ人の申請に向けて今、詳細設計とあと、工認用の計算を今やっているところでございますので、
1:20:41	もう少しすれば、構造的にはお示しをしたいと思います。
1:20:49	許容限界といたしましては鋼材の部分については女川さんと同様に今
1:20:55	江藤弾性設計の範囲で考えております。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:00	コンクリートのところについては、衛藤。
1:21:03	ここについては、棒廃棄、
1:21:06	貿易と同じように概ね弾性で今設計ができるような構造をちょっと考えているところでございます。
1:21:25	えっと、大体わかりました位置付けはまだ整備中ということと、あと多分、
1:21:33	一体構造じゃなくて独立的な構造になると思うんで、その辺も今検討中ってことですかね。
1:21:39	はい。中国電力のヨシツグでございます。扉の方につきましては、
1:21:44	扉の方に荷重をかけないという構造で、
1:21:48	別立ての構造に今考えております。で、
1:21:52	いや、
1:23:54	あ、はい。回答状況、また
1:23:58	進捗しましたら、また、
1:24:01	都度教えてもらえればと思います。はい。中国電力ヨシツグでございます。
1:24:06	こちらの対策工につきまして進捗が進みましてまた別途ご連絡をさせていただきます。以上です。
1:24:17	規制庁の服部です。他あればお願いします。
1:24:21	よろしいでしょうか。
1:24:23	私から2点ほどちょっと確認させてください。
1:24:26	81ページお願いします。
1:24:33	と、ちょっとこちら辺の記載の話なんですけれども、私が前からずっとこだわっていて、
1:24:39	中国電力
1:24:41	評価というのわあ、
1:24:44	断言して欲しいんですね。
1:24:46	牧になるのはこの考えられるという評価なんですね。
1:24:51	記載なんですけど、
1:24:53	どうしてもこうなんか逃げてるような、
1:24:56	そういう印象を受けるので、評価については、
1:25:00	断定していただきたいんですがいかがでしょうかどうぞ。
1:25:08	中国電力のケンツメです。記載のはい記載の中身については検討し適正化したいと思います。以上です。
1:25:19	規制庁の服部ですはい。お願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:22	それと表裏物対策工の話が今出たので、
1:25:26	ちょっとこれは踏み込んで話かもしれませんが、200 ページのところちょっと確認したいんですけれども、
1:25:34	この漂流物、
1:25:37	防波壁通路防波扉漂流物対策工については、
1:25:44	この基本的な考え方としては、
1:25:47	防波扉で津波荷重を受けて、だけを受けて、
1:25:52	漂流物対策法で、
1:25:55	所漂流物衝突荷重だけを受けるような設計方針で今考えているということで、
1:26:02	理解すればよろしいのでしょうかその状況だけ確認をお願い、説明をお願いしますどうぞ。
1:26:07	はい。中国電力のヨシツグでございます。はい。今、古藤さんおっしゃられた通りなんですけど
1:26:14	対策工についてはハウスも一部かかりますので、ハーツと衝突荷重がかかるような構造で今調査を進めているというところでございます。以上です。
1:26:26	規制庁の服部です前は何か更新みたいな形ということで、一部は全部ハウスはかかる全く全部、全発がかかるようなイメージではないという印象だったんですけど。
1:26:40	全部ぼし、対策工で受けてしまえば発を受けてしまえば、当然扉には発はかからないと思っていたので、まずそこら辺はどうなのかな、考え方がどうなのかなってということでちょっと事実確認だけさせていただきたいんですが。
1:27:04	はい。中国電力にお進みます。漂流物対策については対策を受けるという構造でございますので、その構造によって発も、
1:27:14	防波壁の方にははずが、全部かかると。で、対策工についてはその構造によって、どういった発がかかるかというところをもう少し精査をしますね、
1:27:25	ご説明の方さしていただきたいと思っております。以上です。
1:27:29	規制庁の服部ですわかりました。後日また、そこら辺の方針は聞かせ聞かせていただきたいと思っているんですけどいろいろと今、
1:27:39	防波壁の対策の話が出たんでちょっとついでに聞いてみました。ありがとうございます。
1:27:46	私からは以上ですが他にあればお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:50	よろしいですか。
1:27:52	中国電力側から何か確認しておきたいことがあればお願いします。
1:27:59	すいません中国電力の笹木です。先ほど三浦さんの方からご指摘のありました、130 ページの方、ご確認いただけますでしょうか。
1:28:12	先週、傾斜角の長さの取り方なんですけども先ほど私の方でお伝えしておりました、右側の青い全長の先端部から、
1:28:24	登録長さの右側のラインっていうのをお伝えしておりましたけども、正確には今回あのFEMAで出してるものっていうのは、
1:28:34	第 1 隔壁のところ、
1:28:37	なります。
1:28:39	第 1 核兵器っていうのはい。
1:28:41	で、これの根拠としましては、
1:28:46	通し番号で、
1:28:50	248 ページをお願いいたします。
1:29:01	248 ページのこれ、土木学会のズーの引用になるんですけども、こちらが一番上の図の赤ハッチングがかかっているところ、
1:29:13	の部分線選手の傾斜部とされておりまして、その下の図を見ていただくと、先週の変形量と、
1:29:24	縦軸に荷重、
1:29:25	となっておりまして。なんで変形量が一番、
1:29:28	荷重がピークを迎える時の
1:29:33	選手の
1:29:34	この赤矢印両矢印で示している部分というのが、選手の傾斜部の長さであるというところを踏まえまして今回 19t の
1:29:46	衝突解析を行っている状況、とか、解析結果としましては、
1:29:52	246 ページをお願いいたします。
1:30:00	こちらの先週、衝突の荷重をお示ししておりますけども、このピークが出ているところっていうのが、
1:30:10	ちょうどその隔壁が出て、隔壁の位置に当たると。
1:30:15	いうところで衛藤。
1:30:20	先ほどの土木学会のところを踏まえまして選手選手の傾斜部っていうのがこの各平均の 1、荷重が一番出ているところ。
1:30:30	というところで設定の方をしてしておりました。申し訳ございませんでした。
1:30:35	以上です。
1:30:39	わかりました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:42	その辺も含めてね、ちゃんと資料中に入れといてください。
1:30:47	いやこれ、
1:30:50	先ほどちょっと石澤の方からも出てましたけど、先週痙攣。
1:30:54	選手傾斜部の長さどうとるかであって全然違ってて、
1:30:59	土木学会式で女川と同じようにやっちゃうとこれ多分 10 倍ぐらい違っちゃうんだと思うんですよ。そうすつとルートで割り込むんで夫馬の式でいうと、3 倍ぐらいの数字が出てきてしまって、
1:31:11	明らかにこうなんていうか、
1:31:14	今のLS-DYNAよりもずっとほぼものすごく
1:31:18	過大な数字が出てきちゃうんで、
1:31:22	どういうふうにちょっとインダのコメントで受講生を降らせるっていうのを考えられるかなっていうのは、ちょっと私も何かイメージがちょっとわからなかったんですけど、きちっと今、
1:31:33	どういう算定で 15 制をとった、それはどういう考えに基づいてるんだっていうこと、あとはその選手角田もそうですけどね。その辺のところはきちっと説明してください。ありがとうございます。
1:31:53	規制庁のハツリですその他中国電力対面側から何か説明確認したいことがあればお願いしますどうぞ。すみません。中国電力の磯田です。
1:32:02	ちょっと 1 点、今日午前中ご説明させていただきたい点で一番の資料、
1:32:08	の 9 ページ。
1:32:14	の、上から 3 行目 64 番、こちら後日回答という記載が少し、
1:32:20	漏れ、ケースの少し前進
1:32:23	失念していたところをご説明させていただきましたがちょっとこちら、
1:32:27	担当者の方に確認いたしますと、
1:32:31	はい。ちょっと別件のちょっと記載の適正化といいますかそういったか加工コメントそういったところを受けて、まだ少し終わってないところがあるというところでこちらの後日回答は、
1:32:41	でいいますというところすみません。
1:32:44	大変失礼いたしました。はい。
1:32:47	訂正させていただきます。
1:32:49	以上です。
1:32:52	規制庁の服部ですはい。今の件は承知しました。
1:32:55	他に中国電力対面側から何かあればお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:59	よろしいですか。
1:33:01	はい。ではごめんなさい。ちょっと忘れていましたが、藤川さん何かあればお願いしますどうぞ。
1:33:11	フジカワです大丈夫です。
1:33:14	規制庁のハットリですはいわかりました。中国電力本社側から何かあればお願いしますどうぞ。
1:33:22	中国電力本社ナイトウです。こちらは特にございません。以上です。
1:33:27	規制庁のハットリですはい、わかりました。では一通り事実確認が終了したということで、本日のヒアリングを終了いたします。どうもありがとうございました。
1:33:37	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。